

事業名称

都市計画策定費

事業番号

27001

所管コード 所管名

350101	都市建設部都市計画課都市計画係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

都市計画法、景観法

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
1 節	調和のとれた土地利用の推進

将来像	自然・都市・産業が調和した土地利用が行われています
-----	---------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市民、事業者
どのような 手段で	計画的な都市づくりを目指し、必要な都市計画を定めるとともに開発と保全が調和した健全な土地利用を進めるため、その指針となる国土利用計画や都市計画マスタープランの見直し等を図る。調和のとれた良好な景観を維持・保全するため、景観計画の策定を進める。
どのような 状態に	秩序ある土地利用を推進し、都市機能を集約して利便性の高い効率的な都市形成と、良好な自然環境と住環境の調和を図っていく。

職務名

基本構想との調整	都市計画区域の指定(変更)
福岡県都市計画区域マスタープランとの調整(変更)	区域区分の決定(変更)
国土利用計画の策定(見直し)	用途地域の指定(変更)
都市計画マスタープランの策定(見直し)	
各種基本計画との連携・調整	
都市計画基礎調査の実施	
都市計画決定の手続き	

平成24年度実施計画

・都市計画の決定、変更に関する協議、法手続きを行う。・玄海地域都市計画に関する広報活動、土地利用計画の協議・都市計画基本図の修正・都市計画基礎調査の実施・景観啓発事業
--

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
・都市計画の決定、変更に関する協議、法手続き・玄海地域9地区計画の設定・都市計画基本図の修正作業・都市計画基礎調査の実施・景観啓発事業		・玄海地域の都市計画区域編入・玄海地域都市計画に関する広報活動、土地利用計画の協議・都市計画基本図の修正・都市計画基礎調査終了・景観まちづくり検討委員会での審議

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	都市計画決定・変更実施割合	決定・変更件数/予定件数	%	100	100	100	100

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	7,160	11,723	49,576
特定財源	千円			2,069
一般財源	千円	7,160	11,723	47,507
H24特定財源の内訳		都市計画基礎調査委託金 1,953千円都市計画基本図等販売代 116千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	大きな混乱もなく平成24年度の実施計画をほぼ実施できた。今後も開発と保全が調和した健全な土地利用を進めるとともに調和のとれた良好な景観を維持・保全する施策を推進する。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

・都市計画の決定、変更に関する協議、法手続きを行う。(敷地面積の最低限度、建ぺい率の見直し等)・国土利用計画策定・都市計画マスタープラン作成・景観計画等策定事業			
事業費	特定財源	一般財源	
23,316 千円	千円	23,316 千円	

事業名称

都市計画審議会費

事業番号

27002

所管コード 所管名

350101	都市建設部都市計画課都市計画係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

都市計画法

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
1 節	調和のとれた土地利用の推進

将来像	自然・都市・産業が調和した土地利用が行われています
-----	---------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	都市計画審議会
どのような 手段で	都市計画審議会に関して、委員の選考及び委嘱又は任命、案件調整、開催、審議及び議事録の作成を行う。
どのような 状態に	市の健全な発展のため限られた土地資源の効率的で秩序ある整備を図り、市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与する。

職務名

都市計画審議会の運営	

平成24年度実施計画

審議会の回数:3回調査審議件数:4件

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につなりました)
都市計画審議会に関して、委員の選考及び委嘱または任命、案件調整、開催、審議及び議事録の作成を行う。		市の健全な発展のため限られた土地資源の効率的で秩序ある整備を図り、市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与している。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	処理件数		件	7	3	4	13

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	173	101	201
特定財源	千円			
一般財源	千円	173	101	201
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	大きな混乱もなく平成24年度の審議を終了することができ、玄海地域の都市計画区域編入と9地区の地区計画の設定も告示することができた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

審議会の回数:3回調査審議件数:4件			
事業費	特定財源	一般財源	
344 千円	千円	344 千円	

事業名称

事業番号

開発許可及び建築手続等指導事務

28002

所管コード 所管名

350101	都市建設部都市計画課都市計画係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

都市計画法、建築基準法

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
1 節	調和のとれた土地利用の推進

将来像	自然・都市・産業が調和した土地利用が行われています
-----	---------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市民、開発事業者
どのような 手段で	都市計画法、土地区画整理法及び開発指導要綱等に基づき開発基準に沿った的確な指導・助言を行う。市街化調整区域内等の建築相談。建築確認申請に必要な調査報告書を作成するため、庁内の関係課の意見を聴取する。
どのような 状態に	開発行為や土地区画整理事業を行う者に対し、都市計画法、土地区画整理法及び宗像市開発指導要綱等に基づく基準に沿った助言を行い、法令等を遵守するように指導を行う。建築を行う者に対し、建築確認申請に必要な調査報告書の作成を行う。

職務名

開発許可等に関する相談業務	建築行為に関する業務
事前協議会の実施	
開発許可に関する手続指導業務	
土地区画整理事業に関する相談業務	
土地区画整理事業に関する手続業務	
県条例に基づく区域指定の検討、実施	
建築確認申請に関する業務	

平成24年度実施計画

・県都市計画課等と連携を図り開発の基準に沿った的確な指導及び助言を行う。・土地区画整理事業を行う場合は、関係機関と連携を図り、調整及び手続きの指導を行う。・建築確認申請書に必要な調査報告書を作成する。市街化調整区域内の建築についての的確な指導を行う。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
・県都市計画課等と連携を図り開発の基準に沿った的確な指導及び助言を行った。・土地区画整理事業は行われなかった。・建築確認申請書に必要な調査報告書を作成した。市街化調整区域内の建築についての的確な指導を行った。		・法令等が遵守され、違法開発や違法建築等が行われていない。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	法令等の遵守	法律に違反していないか	%	100	100	100	100

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	770	865	7,282
特定財源	千円	515	718	7,212
一般財源	千円	255	147	70
H24特定財源の内訳		緊急雇用(国)6,558千円 建築確認事務委託金(県)177千円 開発事務委託金(県)135千円 建築確認事務調査報告書手数料		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	・法令等が遵守され、違法開発、建築等が行われていない。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

・県都市計画課等と連携を図り開発の基準に沿った的確な指導及び助言を行う。・土地区画整理事業を行う場合は、関係機関と連携を図り、調整及び手続きの指導を行う。・建築確認申請書に必要な調査報告書を作成する。・市街化調整区域内の建築についての的確な指導を行う。			
事業費	特定財源	一般財源	
1,055 千円	750 千円	305 千円	

事業名称

住居表示事業

事業番号

20001

所管コード 所管名

300901	総務部市民課市民係
--------	-----------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

住居表示に関する法律・宗像市住居表示に関する条例

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
2 節	良好な住宅都市の形成

将来像	住みたい、住み続けたいまち
-----	---------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	住居表示を実施すべき市街地
どのような 手段で	・住居表示や字の区域変更等に伴う各種証明の発行を行う。・新築や取り壊しに伴う住居番号の設定・廃止を行う。
どのような 状態に	・住所をわかりやすくするため、住居表示や字の区域の変更を行う。

職務名

住居表示審議会	
地番調書作成	
窓口関係(証明、資料交付、住居番号設定、接客電話)	
マニュアル作成	
事務改善、事務整理	

平成24年度実施計画

住居表示は主に管理事業を行い、新規に住居表示や字の区域の変更等の要望があれば、係の体制を整え事業を実施する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につなりました）
住居表示は主に管理事業（各種証明書の発行・住居番号の設定・廃止）を行う。字の区域の変更について地元と協議を行う。		管理事業：①証明発行 898件 ②設定・廃止 182件 字の区域の変更：地元と協議がまとまらず実施できなかったか、次年度に実施する方向で協議を継続することになった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	住居表示実施率	住居表示実施面積÷ 住居表示を実施すべき 市街地面積×100	%	43.26	43.26	43.26	43.26

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	2,253	2,157	2,149
特定財源	千円			
一般財源	千円	2,253	2,157	2,149
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	住居表示は主に管理事業を行い、また字の区域の変更についても地元と協議を行なった。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

住居表示は主に管理事業を行い、新規に住居表示や字の区域の変更等の要望があれば、係の体制を整え事業を実施する。			
事業費	2,250 千円	特定財源	千円
		一般財源	2,250 千円

事業名称

住居表示等維持管理事業

事業番号

20004

所管コード 所管名

300901	総務部市民課市民係
--------	-----------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

住居表示に関する法律・宗像市住居表示に関する条例

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
2 節	良好な住宅都市の形成

将来像	住みたい、住み続けたいまち
-----	---------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	・住居表示を実施すべき市街地
どのような 手段で	・道路新設や、区画整理事業に関連し、街区の見直し等を適宜実施する。
どのような 状態に	・表示板の新設や張替え等を実施する事により、より分かりやすい街区を目指す。

職務名

実施計画作成等	
街区・地番の変更	
番地表示板の設置	
開発計画事前審査への参加等	

平成24年度実施計画

表示板の設置予定地区の現況調査及び、表示板の設置。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
・大井南・くりえいと地区街区表示板の設置 ・くりえいと・赤間駅前街区案内板設置	・街区表示板・街区案内板設置により、住所がわかりやすくなったことで、市民の利便性の向上につながった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	住居表示実施率	住居表示実施済面積 ÷ 住居表示を実施すべき市街地面積×100	%	43.26	43.26	43.26	43.26

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	474	363	1,513
特定財源	千円			
一般財源	千円	474	363	1,513
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	・平成24年度の実施計画を概ね実施した。今後とも、地元要望等を確認し実施する。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

表示板の設置予定地区の現況調査及び、表示板の設置。			
事業費	特定財源	一般財源	
200 千円	千円	200 千円	

事業名称

事業番号

まちづくり推進事業費

27003

所管コード 所管名

350101	都市建設部都市計画課都市計画係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	----------------------------------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
2 節	良好な住宅都市の形成

将来像	住みたい、住み続けたいまち
-----	---------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	
どのような 手段で	原町地区においては、街なみ環境整備事業を活用して形成してきた歴史的街なみ景観を維持・保全するためにまちづくり協議会と市が協働で都市計画制度(地区計画)等を策定する作業を行うもの。一方、赤間地区では旧唐津街道赤間宿の歴史的街なみの維持・保全すること等将来のまちづくりに関して地域住民と地域の活動団体との合資形成を図るため、赤間地区での活動の中核となる組織立上げの取り組みを行うもの。
どのような 状態に	地域に残る歴史的まちなみ空間を市民共有の財産として維持、保全していくことを通じて、まちの活性化や住環境の向上を図る。

職務名

地域や市民が中心となったまちづくりの推進	

平成24年度実施計画

・修景施設整備事業に対する助成(6件)補助事業終了・まちづくり活動支援
--

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
・修景施設整備事業に対する助成(6件)補助事業終了・まちづくり活動支援(原町、唐津街道むなかた推進協議会)		・修景施設整備事業に対する助成(10件)補助事業終了・まちづくり活動が自主的に行われるよう進んでいます。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	協議会参加率	参加者数/協議会会員数	%	80	70	100	70
成果	道路・通路の整備率	道路・通路の整備済面積/計画面積(4,290㎡)	%	100	100	100	100
成果	修景施設整備率	修景施設整備済件数/修景施設整備計画件数(82)	%	36.6	41.5	46.3	53.65854

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	17,079	9,686	17,297
特定財源	千円	7,975	8,035	3,130
一般財源	千円	9,104	1,651	14,167
H24特定財源の内訳		土木費国庫補助金(街なみ環境整備事業補助金) 3,130千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	・国庫補助事業の街なみ環境整備事業も予定以上の事業を達成し、無事終了した。 ・原町の地区計画設定もほぼ計画通り進んでいる。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

・まちづくり活動支援			
事業費 2,340 千円	特定財源 千円	一般財源 2,340 千円	

事業名称

建築紛争の予防・調整指導事務

事業番号

28004

所管コード 所管名

350101	都市建設部都市計画課都市計画係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 19 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

宗像市建築紛争の予防及び調整に関する条例

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
2 節	良好な住宅都市の形成

将来像	住みたい、住み続けたいまち
-----	---------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	中高層建築物等建築主・施工者、近隣住民等
どのような 手段で	共同住宅や鉄塔などの中高層建築物等が建設される際に、近隣住民との建築に関する紛争が発生した場合、市があっせんを行う。あっせんで建築紛争の解決に至らなかった場合、建築紛争の当事者の申出によって建築紛争調停委員会を開催する事業。
どのような 状態に	中高層建築物、ワンルーム形式集合建築物、特定集合住宅及び指定工作物の建築に関し、建築主等が配慮すべき事項、建築計画の周知の手続、建築紛争のあっせん及び調停に関する手続その他必要な事項を定めることにより、建築紛争の予防及び調整を図り、もって良好な近隣関係の保持及び快適な居住環境の保全に資することを目的としている。

職務名

中高層建築物等の建築に関する手続	
中高層建築物等の建築に伴う紛争の調整	

平成24年度実施計画

中高層建築物等の建築の際に、近隣住民と紛争を起こさないように的確に指導を行う。また、紛争が生じた場合にあっせんや調停を行う。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
中高層建築物等の建築の際に、近隣住民と紛争を起こさないように的確に指導を行う。また、紛争が生じた場合にあっせんや調停を行う。	中高層建築物等の建築の際に、近隣住民と紛争を起こさないように的確に当事者に指導を行った。また、あっせんや調停紛争が生じた事案はなかった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	建築紛争のあっせん	開催回数	回				
成果	建築紛争調停委員会	開催回数	回				

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			
特定財源	千円			
一般財源	千円			
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	中高層建築物等の建築の際に、近隣住民と紛争を起こさないように的確に当事者に指導を行った。また、あっせんや調停紛争が生じた事案はなかった。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

中高層建築物等の建築の際に、近隣住民と紛争を起こさないように的確に指導を行う。また、紛争が生じた場合にあっせんや調停を行う。			
事業費	36 千円	特定財源	千円
		一般財源	36 千円

事業名称

事業番号

住宅相談事業

28005

所管コード 所管名

350202	都市建設部建築課建築係
--------	-------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	---

関係法規・条例

宗像市条例第63号

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
2 節	良好な住宅都市の形成

将来像	住みたい、住み続けたいまち
-----	---------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市民または宗像市に転入しようと考えている人。
どのような 手段で	直接または外部委託による公共性のある住宅相談窓口を常設しています。
どのような 状態に	住宅に関する不安や悩みを速やかに解消することが出来ます。

職務名

住宅相談窓口を公的な団体等へ委託	
協働業務	
定期監査の実施	

平成24年度実施計画

誰もがいつでも安心して相談できる窓口の確保

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
市民公益活動団体との契約により、住宅に関する相談窓口の60日以上の開設を確保した。	192件の相談件数があった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	相談者件数	相談受付票による算出	件	193	167	175	192

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	1,028	995	966
特定財源	千円			
一般財源	千円	1,028	995	966
H24特定財源の内訳		住宅相談窓口業務委託料等		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	前年度に比べて相談件数は増加している。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

誰もがいつでも安心して相談できる窓口の確保			
事業費	997 千円	特定財源	千円
		一般財源	997 千円

事業名称

事業番号

住生活基本計画事業

28015

所管コード 所管名

350202	都市建設部建築課建築係
--------	-------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 24 年度 ～ 平成 34 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

住生活基本法

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
2 節	良好な住宅都市の形成

将来像	住みたい、住み続けたいまち
-----	---------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	誰:市内全居住者並びに居住地を検討している全国民 何:宗像市全域の住宅と住環境
どのような 手段で	宗像市全域を対象とする住生活基本計画を策定(平成24年度)し、各行動計画の指針を示すとともに計画実現に向け推進します。
どのような 状態に	市民が住宅と住環境に対して満足していると感じ、宗像市で暮らしたいと考える市外居住者が多数存在します。

職務名

策定準備	
策定	
広報活動	
行動計画作成	
行動計画実施	
見直し	
成果の検証	

平成24年度実施計画

策定

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
策定委員会を設置し全4回の委員会を開催、パブリックコメントを実施の上、基本計画を策定しました。	今後10年間の住宅施策推進のための基本方針を決定しました。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	住宅への満足度	現在の住宅に満足していると回答している人の割合	%			65	65
成果	空き家・空き地の流通促進	本市における空き家率	%			11	11
活動	行動計画に基づく推進事業	推進事業の実施回数	回				

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			3,873
特定財源	千円			1,154
一般財源	千円			2,719
H24特定財源の内訳		住宅政策関連計画策定等事業：1,154千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	予定通り計画を策定しました。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

計画内容の周知・行動計画の策定準備			
事業費	千円	特定財源	千円
		一般財源	千円

事業名称

事業番号

屋外広告物規制事業

30008

所管コード 所管名

350402	都市建設部維持管理課管理係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 17 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

屋外広告物法、福岡県屋外広告物条例

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
2 節	良好な住宅都市の形成

将来像	住みたい、住み続けたいまち
-----	---------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	屋外広告物の申請者
どのような 手段で	屋外広告物法、福岡県条例に沿った屋外広告物の許可等に関する指導及び事務処理
どのような 状態に	良好な都市景観の保持

職務名

屋外広告物に関すること、及び違反広告物の撤去に関すること	

平成24年度実施計画

屋外広告物法及び福岡県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の設置許可及び違反広告物の撤去等を行うことで良好な都市景観を形成する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
屋外広告物の新規申請28件、更新26件の計54件について、設置許可等に関する指導と適正な事務処理をした。また、違反広告物の看板や貼り紙等の除去を年5回実施して景観の保持に努めた。	良好な都市景観の保持につながった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	違反広告物撤去数		件	3040	1767	2000	1654

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	375	463	477
特定財源	千円	375	463	477
一般財源	千円			
H24特定財源の内訳		屋外広告物権限移譲事務交付金		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	屋外広告物の設置等に関する指導と適正な事務処理をした。また、宗像警察署をはじめ県土木やNTTらと連携して違反広告物の看板や貼り紙等の除去を定期的実施した。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

屋外広告物法及び福岡県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の設置許可及び違反広告物の撤去等を行うことで良好な都市景観を形成する。			
事業費	525 千円	特定財源	525 千円
		一般財源	千円

事業名称

事業番号

居住環境・定住PR事業

11001

所管コード 所管名

390101	都市戦略室秘書政策課秘書政策係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 17 年度 ～ 平成 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	----------------------------------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
2 節	良好な住宅都市の形成

将来像	住みたい、住み続けたいまち
-----	---------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	新婚世帯や子育て世帯などの若い世代に対して
どのような 手段で	子育て世帯、新婚世帯を対象に、市の居住環境、子育て環境、教育環境、住宅取得等助成制度などをPRして定住を推進する。
どのような 状態に	第1次宗像市総合計画の「目標人口10万人」達成のため、主に子育て世帯・新婚世帯をターゲットとした定住PRを実施する。都市ブランドの構築に合わせて、定住PR戦略を検討する。

職務名

PR関連施策の検討、実施	

平成24年度実施計画

主に子育て世帯・新婚世帯をターゲットとし、定住PRを実施する。都市ブランド構築に合わせて、戦略的な定住PRを実施する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
新聞、子育て情報誌など各種広告掲載によるPRやラジオ、インターネット等を活用した情報発信、イベント出展による情報発信などを行った。	住宅取得等の助成制度などを活用した若い世代の転入者増が見られた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	メディアを活用した定住PR回数	新聞、フリーペーパー等でのPR回数	件	4	9	8	27
	定住PRを実施したイベント回数	リーフレット等を配布したイベント回数	回	7	8	10	15
	定住PRを実施した企業・団体数	リーフレット等を配布したり説明会を実施したりした企業・団体数	件	39	32	40	20

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	2,190	2,532	5,651
特定財源	千円			
一般財源	千円	2,190	2,532	5,651
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	民間事業者のノウハウを活用したPRを実施し、メディア等の露出回数が増加した。また、イベント出展等によるPRを充実させた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

主に子育て世帯・新婚世帯をターゲットとし、定住PRを実施する。都市ブランド構築に合わせて、戦略的な定住PRを実施する。

事業費	6,081 千円	特定財源	千円	一般財源	6,081 千円	
-----	----------	------	----	------	----------	--

事業名称

事業番号

住宅市場活性化事業

11005

所管コード 所管名

390101	都市戦略室秘書政策課秘書政策係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 17 年度 ～ 平成 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	----------------------------------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
2 節	良好な住宅都市の形成

将来像	住みたい、住み続けたいまち
-----	---------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	住宅関連事業者など
どのような 手段で	子育て世帯・新婚世帯を対象とした住宅市場の活性化に係る支援と調整を行う。
どのような 状態に	子育て世帯・新婚世帯の人口増加

職務名

住宅市場活性化支援	

平成24年度実施計画

(1)「空き家・空き地バンク」の運営(2)「空き家・空き地バンク」の物件情報の収集と発信(3)定住ポータルサイトの充実(4)(1)～(4)のPR、(5)土地区画整理事業の誘導制度のPR(6)宅地開発事業の具体的な誘導策の検討
--

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容) ⇒⇒⇒ 空き家・空き地バンクを開設し、物件情報の収集と情報発信に努めた。また、定住ポータルサイトを併せて開設し、定住化の促進に関する各種情報発信と支援制度等の利用促進に努めた。住宅開発等の誘導に向け、県内事業者への営業活動を行った。	成果内容(対象の変化。●●につなりました) 空き家・空き地バンクにおける物件登録が46件、取引の成立が15件あった。
---	---

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	空き家・空き地の取引促進	「空き家・空き地バンク」の成約件数	件			5	15

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	1,113	5,730	4,632
特定財源	千円		3,465	4,117
一般財源	千円	1,113	2,265	515
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	空き家・空き地バンクや定住ポータルサイトの1年間の運用実績は、開始初年度としては順調と言える。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

(1)「空き家・空き地バンク」の運営(2)「空き家・空き地バンク」の物件情報の収集と発信(3)定住ポータルサイトの充実(4)(1)～(4)のPR、(5)土地区画整理事業・宅地開発事業の誘導制度のPR			
事業費	特定財源	一般財源	
4,573 千円	千円	4,573 千円	

事業名称

事業番号

住宅購入支援事業

11006

所管コード 所管名

390101	都市戦略室秘書政策課秘書政策係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 22 年度 ～ 平成 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	----------------------------------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
2 節	良好な住宅都市の形成

将来像	住みたい、住み続けたいまち
-----	---------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	新婚世帯や子育て世帯などの若い世代に対して
どのような 手段で	子育て世帯・新婚世帯を対象に、定住に係る補助金を交付する。
どのような 状態に	子育て世帯、新婚世帯の人口増加と空き家の減少に努める。

職務名

住宅購入支援	

平成24年度実施計画

住宅購入支援制度の利用者を増加させる。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
家賃補助制度、中古住宅購入補助制度、解体補助制度を創設し、利用者の促進に努めた		家賃補助制度は228件、中古住宅購入補助制度は43件、解体補助制度は8件の利用があった。旧制度の転入者中古住宅購入補助制度の利用者が20件あった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	中古住宅購入件数	中古住宅購入件数(平成22年8月開始、平成24年4月見直し)	件	7	18	110	71
	家賃補助世帯数	家賃補助世帯数(平成24年4月開始)	世帯			25	228

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	4,178	10,960	49,574
特定財源	千円		2,925	8,503
一般財源	千円	4,178	8,035	41,071
H24特定財源の内訳		社会資本整備交付金 8503千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	家賃補助制度は利用者が見込みを大幅に上回り、400人を超す転入者があった。解体補助制度は、利用見込みを下回ったが、中古住宅関連制度は、一定の利用者があった。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

住宅購入支援制度の利用者を増加させる。			
事業費 75,100 千円	特定財源 9,180 千円	一般財源 65,920 千円	

事業名称

定住施策の総合調整事業

事業番号

11007

所管コード 所管名

390101	都市戦略室秘書政策課秘書政策係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 23 年度 ～ 平成 27 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 1 章	都市づくりの推進
2 節	良好な住宅都市の形成

将来像	住みたい、住み続けたいまち
-----	---------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	新婚世帯や子育て世帯などの若い世代の人々
どのような 手段で	「住んでみたいまち宗像5年計画」の進行管理を通して総合的な定住化施策を全庁的に推進する。
どのような 状態に	総合的な定住化施策を全庁的に推進し、子育て世帯、新婚世帯を中心とした人口増を目指す。

職務名

定住化推進のための総合施策の進行管理、調整	

平成24年度実施計画

総合的な定住化施策を全庁的に推進する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
総合的な定住化施策を全庁的に推進するため、「住んでみたいまち宗像5年計画」の進行管理や定住化推進会議の開催等を行う。		平成24年4月に開始した3つの住宅取得等補助制度は、それぞれ、228件、43件、8件の申請があった。空き家・空き地バンクは1年間で91件の物件登録申請、15件の取引成立があった。「都市ブランド推進プログラム」を提案した。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			
特定財源	千円			
一般財源	千円			
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	当該年度に計画した各事業については、概ね目標をクリアできた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

総合的な定住化施策を全庁的に推進する。			
事業費	千円	特定財源	千円
		一般財源	千円

事業名称

市街地整備事業

事業番号

29025

所管コード 所管名

350303	都市建設部建設課市街地整備係
--------	----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 24 年度 ～ 平成 33 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 2 章	中心拠点の整備
1 節	中心拠点の活性化

将来像	中心拠点が活力とにぎわいにあふれています
-----	----------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	駅利用者、及び周辺住民
どのような 手段で	駅周辺の市街地において、駅前広場や道路などの都市基盤を整備する。
どのような 状態に	駅利用者の利便性、安全性、快適性を向上させる。

職務名

調査・研究	
事業損失補償	
赤間駅北口整備国庫補助事業関連事務	
地中埋設物撤去工事	

平成24年度実施計画

赤間駅北口土地区画整理事業の清算金事務を行うとともに、事業の事跡を整理し、区画整理誌を作成する。
--

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
・赤間駅北口土地区画整理事業の清算金事務・土地区画整理事業記念誌の作成	・赤間駅北口土地区画整理事業の終了

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	中心拠点が活性化していると思う市民の割合	アンケート調査による	%			25.7	18

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			4,316
特定財源	千円			
一般財源	千円			4,316
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	赤間駅北口土地区画整理事業の清算金事務が終了したため
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

赤間駅北口土地区画整理事業地内での民間建築物の建築に伴ない、地中埋設物等が出た場合に撤去工事を行う。また、工事に伴う補償費に関する交渉を行ない、契約を交わす。			
事業費 18,287 千円	特定財源 千円	一般財源 18,287 千円	

事業名称

県道改良事業

事業番号

29001

所管コード 所管名

350301	都市建設部建設課建設係
--------	-------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

・道路法第52条(道路に関する費用:市町村の分担金)・地方財政法第27条(都道府県が行う建設事業)

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	域外からの来訪者や市民
どのような 手段で	・県が実施している街路整備に伴う事業費の負担金を拠出。・街路県単費の1/4:宗像福岡線(土穴)、光岡東郷線(東郷)、徳重曲線(徳重)・街路補助事業費の1/6:光岡東郷線(東郷)
どのような 状態に	幹線道路に位置付けされている県道整備が促進され、道路ネットワークが充実して市民の移動が容易になり安全性が向上する。

職務名

県道改良事業	

平成24年度実施計画

県が実施する事業(測量設計、用地買収補償交渉及び道路工事)が促進するように、地域や関係機関との調整や協議に対応する。

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
光岡東郷線は拡幅工事と橋梁上部工の実施、宗像福岡線は用地補償交渉の実施。徳重曲線は交差点部の工事の実施。		光岡東郷線は拡幅工事と橋梁上部工(JR委託)の発注。宗像福岡線は用地A=462㎡、補償N=12件の契約。徳重曲線は信号機や照明灯の移設工事を発注。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	負担路線数	街路事業路線数	路線	3	3	3	3

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	204,509	158,493	148,468
特定財源	千円	194,200	150,500	141,000
一般財源	千円	10,309	7,993	7,468
H24特定財源の内訳		合併特例事業債：141,000千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	用地補償交渉が難航しているが、事業計画に沿って進んでいる。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

県が実施する事業(測量設計、用地買収補償交渉及び道路工事)が促進するように、地域や関係機関との調整や協議に対応する。

事業費	特定財源	一般財源	
80,000 千円	76,000 千円	4,000 千円	

事業名称

事業番号

道路新設改良事業

29008

所管コード 所管名

350301	都市建設部建設課建設係
--------	-------------

新規／継続

事務区分

継続	自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)
----	--------------------------

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	域外からの来訪者や市民
どのような 手段で	地元行政区から改善提案の上がった生活道路を改良するもので、測量設計、用地買収、工事を行う。具体的な進め方は、一路線の整備を三ヵ年に分けて、初年度に測量設計、次年度に用地買収、最終年度に工事という工程で事業を進める。
どのような 状態に	地域の生活道路環境の向上(狭隘な道路の拡幅)

職務名

道路新設改良事業	

平成24年度実施計画

改善提案書の精査、調査測量設計、用地補償契約及び道路工事の実施

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
福崎10号線他8路線の測量設計業務委託の実施、田久32号線他4路線の用地補償の交渉、東郷曲線他8路線の道路整備工事の実施。	福崎10号線他8路線の測量設計業務委託の完了、田久32号線他4路線の関係者と用地補償契約の締結、東郷曲線他8路線の道路整備工事の発注及び整備工事の完了。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	実施箇所数	実施箇所数	箇所	8	8	10	9

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	163,131	169,561	175,842
特定財源	千円	17,700		
一般財源	千円	145,431	169,561	175,842
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	用地補償交渉で難航していたが、事業計画に沿って進んでいる。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

改善提案書の精査、調査測量設計、用地補償契約及び道路工事の実施			
事業費 150,000 千円	特定財源 千円	一般財源 150,000 千円	

事業名称

土穴須恵線道路改良事業

事業番号

29017

所管コード 所管名

350301	都市建設部建設課建設係
--------	-------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 20 年度 ～ 平成 24 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

都市計画法第59条(都市計画事業の認可等:施工者)

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	域外からの来訪者や市民
どのような 手段で	道路整備の実施
どのような 状態に	幹線道路網の東側南北軸の整備により、本市の中心市街地やJR赤間駅と市北西部(玄海地域)間の移動時間短縮、利便性と安全性の向上

職務名

土穴須恵線整備事業費(交付金事業)	
土穴須恵線整備事業費	

平成24年度実施計画

一部未買収の用地取得の完了と工事の実施

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
未買収の用地取得を完了し、築造工事の発注。		築造工事の完了、供用開始により、北部地域から中心市街地へのアクセスが向上した。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	事業の進捗率	単年度事業費/全体事業費	%	55.1	17.1	2.6	2.6

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	267,000	83,307	11,724
特定財源	千円	260,800	81,227	11,019
一般財源	千円	6,200	2,080	705
H24特定財源の内訳		社会資本整備総合交付金：6,219千円、合併特例事業債：4,800千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	終了	
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

事業費	千円	特定財源	千円
		一般財源	千円

事業名称

観光道路整備道路事業

事業番号

29021

所管コード 所管名

350301	都市建設部建設課建設係
--------	-------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 23 年度 ～ 平成 25 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	域外からの来訪者や市民
どのような 手段で	観光施設等へのアクセス向上のために道路整備を実施する。
どのような 状態に	域外からの来訪者や市民が観光施設(釣川河口域、御嶽山展望台、砲台跡地)を利用しやすいように、安全性と利便性を向上させる。

職務名

新川先線道路改良事業	
御入道線道路改良事業	
御嶽山線道路改良事業	

平成24年度実施計画

新川先線の事業用地買収、改良工事を実施する。改良工事に伴い、景観に配慮したガードパイプを設置する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
新川先線の事業用地買収、改良工事を実施。御嶽山線及び御入道線の測量設計業務の実施。		新川先線の事業用地買収、改良工事の発注と御嶽山線及び御入道線の測量設計業務の発注。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	事業の進捗率	単年度事業費/全体事業費×100	%	—	5.3	48.1	27.1

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円		10,516	38,808
特定財源	千円		9,900	36,800
一般財源	千円		616	2,006
H24特定財源の内訳		合併特例事業債：36,800千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	国指定の保安林解除の協議に時間を要して難航しているが、事業計画に沿って進んでいる。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

新川先線の用地買収と道路工事の実施。御入道線及び御嶽山線の用地買収と工事の実施。			
事業費 40,600 千円	特定財源 38,900 千円	一般財源 1,700 千円	

事業名称

平井10号線道路改良事業

事業番号

29023

所管コード 所管名

350301	都市建設部建設課建設係
--------	-------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 24 年度 ～ 平成 27 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	域外からの来訪者や市民
どのような 手段で	道路整備の実施
どのような 状態に	地域住民が安全で快適に東郷駅へ移動できる道路整備。

職務名

平井10号線道路改良事業	

平成24年度実施計画

測量設計業務を実施する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
地域や警察等と協議・調整を行いながら、調査 測量設計業務の実施。	地元関係者と現地立会い等を行い、測量設計業務が完了し、用地交渉資料が整った。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	事業の進捗率	単年度事業費/全体事業費×100	%	—	—	6	5

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			5,355
特定財源	千円			3,800
一般財源	千円			1,555
H24特定財源の内訳		合併特例事業債：3,800千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	測量設計業務が完了し、事業計画に沿って進んでいる。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

用地交渉の実施。			
事業費 41,000 千円	特定財源 38,900 千円	一般財源 2,100 千円	

事業名称

東郷日の里線(2)道路改良事業

事業番号

29024

所管コード 所管名

350301	都市建設部建設課建設係
--------	-------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 24 年度 ～ 平成 28 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	域外からの来訪者や市民
どのような 手段で	道路整備の実施
どのような 状態に	県事業(尾園踏切高架事業)により、地域住民が移動に不便が生じないような道路環境整備。

職務名

東郷日の里線道路改良事業(交付金事業)	

平成24年度実施計画

調査測量設計業務の実施

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容） 地域や警察等と協議・調整を行いながら、調査測量設計業務の実施。	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました） 地元関係者と現地立会い等を行い、測量設計業務が完了し、地権者への用地交渉資料が整った。
---	-----	---

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	事業の進捗率	単年度事業費/全体事業費×100	%	—	—	5	5

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			13,946
特定財源	千円			7,590
一般財源	千円			6,356
H24特定財源の内訳		社会資本整備事業交付金：7,590千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	事業計画に沿って粛々を進んでいる。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

用地交渉の実施。			
事業費 60,000 千円	特定財源 58,600 千円	一般財源 1,400 千円	

事業名称

事業番号

釈迦院村中福間線道路改良事業

29026

所管コード 所管名

350301	都市建設部建設課建設係
--------	-------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 24 年度 ～ 平成 27 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	域外からの来訪者や市民
どのような 手段で	道路整備の実施
どのような 状態に	当該道路を利用する地域住民の安全性と移動の円滑化の向上。

職務名

釈迦院村中福間線道路改良事業	

平成24年度実施計画

調査測量設計、用地補償契約の実施

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容） 地域や警察等と協議・調整を行いながら、調査測量設計業務の実施と用地交渉。	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につなかりました） 地元関係者と現地立会い等を行い、測量設計業務が完了し、地権者と用地買収契約が整った。
--	-----	--

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	事業の進捗率	単年度事業費/全体事業費×100	%	—	—	14.6	10

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			9,670
特定財源	千円			9,100
一般財源	千円			570
H24特定財源の内訳		合併特例事業債：9,100千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	測量設計業務の完了、用地買収契約と事業計画に沿って進んでいる。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

道路整備工事の実施。			
事業費 30,000 千円	特定財源 28,500 千円	一般財源 1,500 千円	

事業名称

東郷駅北口駅前広場整備事業

事業番号

27006

所管コード 所管名

350303	都市建設部建設課市街地整備係
--------	----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 20 年度 ～ 平成 27 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

都市計画法第59条

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	東郷駅利用者、及び周辺住民
どのような 手段で	東郷駅北口駅前広場とそれに接続する(都)東郷駅前線などの周辺の道路や公共施設を整備する
どのような 状態に	地域拠点となっている東郷駅利用者の利便性、安全性、快適性を向上させる。

職務名

工事施工	橋梁整備
用地補償契約	
関係機関協議	
エレベーター整備	
エスカレーター整備	
自転車等駐車場整備	
補助事業手続き	

平成24年度実施計画

東郷駅前線と駅前広場の測量及び調査・設計業務を実施し、用地取得及び建物等移転に着手する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
・北口駅前広場測量調査設計業務・橋梁設計業務・用地及び建物等移転補償交渉		・実施設計が完了したので、東郷地区コミュニティだよりに計画を掲載し、地域住民に計画を周知することができた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	事業の進捗率	単年度事業費/全体事業費×100	%	0.04	0.01	30	6

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	651	65	102,783
特定財源	千円			95,977
一般財源	千円	651	65	6,806
H24特定財源の内訳		社会資本整備総合交付金 48,477千円		合併特例債 47,500千円

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	やや遅れ	設計業務関係は、ほぼ予定通りに進捗が図られたものの、用地取得交渉、及び建物等移転補償交渉に関しては一部難航しており、予定よりも遅れが生じている。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

東郷駅前線と駅前広場の用地取得及び建物等移転を行い、工事に着手する。また、自転車等駐車場(東側)及びエスカレーター・エレベーター・トイレの設計と用地取得及び建物等移転を行う。

事業費 1,053,107 千円	特定財源 1,011,252 千円	一般財源 41,855 千円	
---------------------	----------------------	-------------------	--

事業名称

東郷駅南口駅前広場整備事業

事業番号

29027

所管コード 所管名

350303	都市建設部建設課市街地整備係
--------	----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 24 年度 ～ 平成 28 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	東郷駅利用者、及び周辺住民
どのような 手段で	東郷駅南口駅前広場(一般車待機用駐車場、タクシープール、自転車等駐車場等)を整備する。
どのような 状態に	地域拠点となっている東郷駅利用者の利便性、安全性、快適性を向上させる。

職務名

用地補償契約	
設計業務	
関係機関協議	
エスカレーター整備	
自転車等駐車場整備	
駅前広場整備工事	

平成24年度実施計画

駅前広場の基本設計業務を実施する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
南口駅前広場改良案を日の里コミュニティの役員会議等に諮り、県警との協議を経て基本設計が完了した。	日の里コミュニティの役員に対して、計画内容の周知が図られた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	事業の進捗率	単年度事業費/全体事業費×100	%	—	—		0.2

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			766
特定財源	千円			700
一般財源	千円			66
H24特定財源の内訳		合併特例債 700千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	平成24年度の実施計画で予定していた業務を概ね実施できた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

駅前広場と自転車等駐車場(東側)及び自由通路エスカレーターの実施設計を行う。また、新たに自由通路部耐震設計を行なう。			
事業費 21,500 千円	特定財源 20,450 千円	一般財源 1,050 千円	

事業名称

道路維持管理事業

事業番号

30004

所管コード 所管名

350401	都市建設部維持管理課道路公園係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	----------------------------------

関係法規・条例

道路法

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市道利用者に対して
どのような 手段で	道路側溝及び道路舗装の補修、整備を行なうとともに、側溝暗渠部等の清掃や草刈、街路樹管理を行なう。
どのような 状態に	交通車両の安全かつ円滑な運行、及び歩行者の安全性確保と利便性向上を目指す。

職務名

道路施設等の機能維持に関すること 道路維持(植栽管理など)	

平成24年度実施計画

・舗装、側溝の修繕工事発注 200件 舗装、側溝の改良工事発注 200件 道路植栽管理委託 20件

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
市道の維持管理		市道が安全に通行できた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	事故件数	道路整備不良による事故件数(保険対応分)	件	1			

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	401,783	379,896	373,218
特定財源	千円	38,285	38,790	38,000
一般財源	千円	363,498	341,106	335,218
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	計画どおり事業を実施した。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

・舗装、側溝の修繕工事発注 200件 舗装、側溝の改良工事発注 200件 道路植栽管理委託 20件			
事業費 393,577 千円	特定財源 24,000 千円	一般財源 369,577 千円	

事業名称

道路管理事業

事業番号

30009

所管コード 所管名

350402	都市建設部維持管理課管理係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

--

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市民
どのような 手段で	市が管理している道路を、市民が安全かつ円滑に通行できるよう、道路法の規程に基づいた道路認定をはじめ道路台帳の整備や道路占用許可等の事務処理を適正に行う。
どのような 状態に	市民が、市道を安全かつ円滑に通行できるよう適切な維持管理をする。

職務名

道路占用に関すること	
道路台帳の整備に関すること	
法定外公共物に関すること	

平成24年度実施計画

道路認定、道路台帳の整備、道路占用許可、市道の境界確定、国調基準点の復元、法定外公共物の協議等道路管理に関する業務を円滑に推進する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
市が管理している道路を、道路法の規程に基づいた事務処理を適正に行う。また、道路占用料の見直しを行う。		市が管理している道路を、道路法の規程に基づいた事務処理を適正に行った。また、道路占用料の見直しを行い、宗像市道路占用料徴収条例を改正した。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	境界協議件数		件	137	143	130	167

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	33,179	40,159	39,151
特定財源	千円		2,035	
一般財源	千円	33,179	38,124	39,151
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	市道を、道路法の規程に基づいて適正に事務処理をした。また、道路占用料の見直しを行い、宗像市道路占用料徴収条例を改正した。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

道路認定、道路台帳の整備、道路占用許可、市道の境界確定、国調基準点の復元、法定外公共物の協議等道路管理に関する業務を円滑に推進し、市民が安全かつ円滑に通行できるようにする。

事業費	特定財源	一般財源	
40,074 千円	千円	40,074 千円	

事業名称

駐輪場・駐車場管理運営事業

事業番号

30010

所管コード 所管名

350402	都市建設部維持管理課管理係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

駐車場法、宗像市自転車等駐車場条例、宗像市自動車駐車場条例

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市民
どのような 手段で	JR3駅周辺の市営駐輪場・駐車場の管理運営及び市道や公園内に放置された自転車等の撤去及び処分をする。
どのような 状態に	通勤や通学等で駐輪場・駐車場を利用する市民が、安心・安全に利用できる施設にするとともに、放置自転車等を撤去することで快適な市街地を目指す。

職務名

市営駐輪場等の管理運営に関すること	
放置自転車、放置バイクの処理に関すること	

平成24年度実施計画

市内の定期的な巡回や市民等からの通報により、市道・公園及び駐輪場に放置された自転車等の撤去及び保管を行い、交通の安全、景観の向上を図る。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
市が管理する駐輪場・駐車場の管理運営及び市道や公園内に放置された自転車等の撤去及び処分をして交通の安全と景観の向上を図る。		市が管理する駐輪場・駐車場の管理運営及び市道や公園内に放置された自転車等の撤去及び処分をして交通の安全と景観の向上を図った。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	放置自転車回収台数		台	388	226	200	154
	放置自転車回収回数		回	141	108	80	81

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	23,005	29,444	30,544
特定財源	千円	18,470	25,754	16,367
一般財源	千円	4,535	3,690	14,177
H24特定財源の内訳		自販機等設置料、自動車・自転車駐車場使用料、電気使用料外		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	駐輪場・駐車場の管理運営及び放置自転車等の撤去及び処分を適正に行ったことで、交通の安全と景観の向上を図った。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

市内の定期的な巡回や市民等からの通報により、市道・公園及び駐輪場に放置された自転車等の撤去及び保管を行い、交通の安全、景観の向上を図る。また、駐輪場の指定管理者の期間が平成26年3月末で満期となるため、指定管理者の見直しを行う。			
事業費	特定財源	一般財源	
30,935 千円	17,146 千円	13,789 千円	

事業名称

事業番号

橋梁長寿命化修繕計画作成事業

30012

所管コード 所管名

350402	都市建設部維持管理課管理係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 21 年度 ～ 平成 24 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

道路法

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
1 節	道路ネットワークの充実

将来像	市民が安全で快適に通行できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	橋梁を通行する市民。
どのような 手段で	市道に架橋された2m以上の道路橋を調査・点検して現状を把握し、そのデータを基に橋梁長寿命化計画を策定する。
どのような 状態に	橋梁の長寿命化計画を策定することで、橋梁の修繕及び架け替えが計画的に実施でき、維持管理経費の縮減を図るとともに市内の道路網の安全性・信頼性を確保する。

職務名

橋梁長寿命化修繕計画作成に伴う橋梁点検に関すること	

平成24年度実施計画

橋梁点検の結果を基に橋梁長寿命化計画を策定する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
市道に架橋された2m以上の橋538橋について、調査・点検データを基に橋梁長寿命化計画を策定する。	市道に架橋された538橋の橋梁長寿命化計画を策定した。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	橋梁点検進捗率		%		100		
成果	計画策定進捗率		%		20	100	100

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円		13,966	25,208
特定財源	千円		7,425	13,860
一般財源	千円		6,541	11,348
H24特定財源の内訳		橋梁長寿命化修繕計画策定費補助金		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	市道に架橋された2m以上の道路橋の調査・点検データを基に、橋梁長寿命化計画を策定した。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

事業費	千円	特定財源	千円
		一般財源	千円

事業名称

教育大前駅バリアフリー化事業

事業番号

2028

所管コード 所管名

300101	総務部総務課行政係
--------	-----------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 23 年度 ～ 平成 25 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
2 節	公共交通の利便性の向上

将来像	公共交通で、快適に移動できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	JR教育大前駅を利用する市民
どのような 手段で	JR九州が行う教育大前駅のエレベータ設置等のバリアフリー整備に対する補助を行うもの。 JR九州総事業費 194,930千円、国・地方自治体(本市)・事業者(JR九州)がそれぞれ3分の1負担。
どのような 状態に	利用者が駅を利用しやすい環境を整備する

職務名

JR九州協議 補助金支出手続き	

平成24年度実施計画

○ 上り線、下り線にエレベーター各1基の設置○ 多機能トイレ設置○ 2段手すりの整備○ 視覚障害者誘導ブロック、誘導鈴の整備に対する補助金交付

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
・関係コミュニティ運営協議会と協議・JR及び九州運輸局と協議及び出来形審査・補助額増額補正及び出来形補助金交付	6割が完成し、来年度工事完了

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	工事進捗率		%			70	60

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			63,540
特定財源	千円			
一般財源	千円			63,540
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	やや遅れ	法面の水位が高くかなりの止水工事が必要となることが判明、薬液注入による人力施工により工事費の増と工期が延長となった。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

昨年度、竣工できなかった部分○ 上り線、下り線にエレベーター各1基の設置○ 多機能トイレ設置○ 2段手すりの整備○ 視覚障害者誘導ブロック、誘導鈴の整備に対する補助金交付し、9月までに利用を開始する。今年度で工事完了			
事業費	千円	特定財源	千円
		一般財源	24,076 千円

事業名称

事業番号

公共交通整備事業

2007

所管コード 所管名

300801	総務部生活安全課生活安全係
--------	---------------

新規／継続

事務区分

継続	自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)
----	--------------------------

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 10 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

道路運送法

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
2 節	公共交通の利便性の向上

将来像	公共交通で、快適に移動できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市民、主に高齢者など自動車を運転しない市民、交通空白地域に居住する市民
どのような 手段で	①ふれあいバスコミュニティバスの運行管理、路線・時刻検討、補助②大島におけるタクシー助成③市内路線バスへの補助(津屋崎・鐘崎線、直方～鞍手～宗像線、泉ヶ丘線、日の里線)④ふれあいバスカードの発行、バス停の管理、イベント時の移設等対応⑤廃止バス路線について西鉄バスとの協議、対応検討
どのような 状態に	公共交通で、快適に移動できるまち

職務名

地域公共交通会議運営	運輸支局・警察・道路管理者との協議・申請
バス停整備・維持管理	
ふれあいバス運行管理	
ふれあいバスカード発行	
大島における公共交通事業	
コミュニティバス運行管理	
地域の運行委員会との協議	

平成24年度実施計画

10人乗りワゴン車の拡充、ふれあいバス路線の検証。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
バスの運行管理。大島地区タクシー料金助成事業。ふれあいバス路線コミュニティバスの検証と改正へむけた取り組みを実施した。赤間地区コミュニティの試験運行開始に向けての準備をおこなった。	平成25年4月1日ふれあいバスコミュニティバス路線・時刻改正及び赤間地区コミュニティ試験運行開始につながった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	運行経費に対する収入率	年間利用収入／年間運行経費	%	33	26	40	19
	年間利用者数	ふれあいバス＋10人乗りワゴン車利用人数	人	140769	131968	150000	128451

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	40,489	141,972	85,778
特定財源	千円		79,093	5,346
一般財源	千円	40,489	62,879	80,432
H24特定財源の内訳		生活交通確保対策補助金（車両購入：1,361、運行費：3,985）		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	予定どおり、ふれあいバスコミュニティバスの路線・時刻改正及び赤間地区コミュニティバス試験運行を開始した。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

バスの運行管理赤間地区コミュニティバス試験運行の検証結果から来年度以降の本格運行を検討、実施する。利用促進に向けた取り組み大島地区タクシー料金助成事業地域公共交通会議の開催			
事業費 75,206 千円	特定財源 4,608 千円	一般財源 70,598 千円	

事業名称

事業番号

神湊荷捌所撤去事業

35014

所管コード 所管名

360502	産業振興部水産振興課漁港整備係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 24 年度 ～ 平成 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	----------------------------------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
2 節	公共交通の利便性の向上

将来像	公共交通で、快適に移動できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	渡船(公共交通)及びターミナル等利用者。
どのような 手段で	航路再編に伴う神湊ターミナルの利用者数増加に対応するため、また、うみんぐ大島開業に伴う観光客増、沖ノ島世界遺産登録の推進等に資するため、老朽化した荷捌所を撤去する。
どのような 状態に	渡船航路の玄関口となるターミナル新設に伴い老朽化した荷捌所の撤去を目指す。

職務名

神湊ターミナル周辺整備業務	
神湊ターミナル周辺整備の推進業務	

平成24年度実施計画

神湊漁港の老朽化した荷捌所の撤去。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
当該荷捌所は国庫補助金が投入されている為、水産庁、福岡県漁連、福岡県、宗像市で協議を実施してきた。	平成24年度内での撤去許可が下りない為、実施を見送った。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	荷捌所撤去	撤去	%			100	

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			
特定財源	千円			
一般財源	千円			
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	遅れ	国庫補助金の返納(福岡県漁連)等の手続きに遅れが生じている。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

関係機関の処理待ち。

事業費	千円	特定財源	千円	一般財源	千円	
-----	----	------	----	------	----	--

事業名称

神湊ターミナル周辺整備事業

事業番号

8004

所管コード 所管名

360502	産業振興部水産振興課漁港整備係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 22 年度 ～ 平成 24 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
2 節	公共交通の利便性の向上

将来像	公共交通で、快適に移動できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	ターミナル利用者(観光客含む)。
どのような 手段で	本事業は、航路再編に伴う神湊ターミナルの利用者数増加に対応するため、また、うみんぐ大島開業に伴う観光客増、沖ノ島世界遺産登録の推進等に資するため、周回道路の整備と駐車場の改良を行うもの。
どのような 状態に	周回道路、駐車場の改良工事を行なう事により、神湊ターミナル利用者及び、周辺住民に快適で安心できる空間の提供を目指す。

職務名

神湊ターミナル周辺整備業務	
神湊ターミナル周辺整備の推進業務	

平成24年度実施計画

・周回道路全延長の整備・駐車場の改良・漁協建屋撤去及び、移転

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
道路新設工事 2件、駐車場整備工事 1件門扉設置工事 1件漁協事務所解体・移転補償 1件	周回道路、駐車場の改良工事を行なう事により、神湊ターミナル利用者及び、周辺住民に快適で安心できる空間を提供できた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	事業進捗率	実施事業費／全体事業費	%	29	50	100	100

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	14,000	13,290	56,918
特定財源	千円	13,600	12,909	54,700
一般財源	千円	400	381	2,218
H24特定財源の内訳		合併特例事業債 54,700千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	終了	平成24年度の実施計画を実施出来た。平成22年度からの事業も完了となる。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

完了			
事業費	千円	特定財源	千円
		一般財源	千円

事業名称

事業番号

渡船経営健全化事業

36005

所管コード 所管名

360601	産業振興部渡船課渡船係
--------	-------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

離島振興法、離島航路整備法、海上運送法、船員法、渡船条例等

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
2 節	公共交通の利便性の向上

将来像	公共交通で、快適に移動できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	渡船運航事業に対して
どのような 手段で	・渡船事務事業に係る例規や海上運送法等法令手続き関係や航路損益計算書を作成、離島航路補助金の申請等を行う。・渡船事業の安定かつ持続可能な運営を確保するため、利用者拡大のための振興事業との連携や経費削減に係る事務・事業を実施し、渡船事業の収支率改善を図る。 ・渡船事業運営審議会に対する諮問事項、年次報告書作成に関する事務、審議会の運営
どのような 状態に	事務改善などによる経費削減を実施して、渡船の持続可能な事業継続を目指す。

職務名

事業変更認可の諸手続き事務	
航路補助金に係る事務及び航路損益計算書の作成、航路監査事務	
利用者拡大に係る関連事業連携事務	
経費削減に係る業務改善事務	
渡船事業の収支率改善事務	
審議会の開催、運営に関する事務及び事業計画の実施に係る審議事項、報告書作成等事務	
可動橋等付属施設及び待合所等の営繕計画作成事務	

平成24年度実施計画

航路の再編(本土寄港地を神湊港に集約した)の効果を検討する。渡船運賃集計システムを導入する。

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
航路再編により港が変更となった地島航路について、島民及び利用者にアンケート調査を実施し、再編後の課題を整理した。また、運賃集計システムについては、神湊港ターミナルの供用開始に合わせ稼働させた。		地島航路においては、フェリー便を就航させ、車両・貨物輸送の利便性を向上させた。本土港地を一元化したことにより、島の情報発信の強化につながった。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	地島航路収支率	収益÷費用	%	24.9	23	24	25.9
成果	大島航路収支率	収益÷費用	%	63.3	61.5	60	58.9

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	84,527	79,056	71,203
特定財源	千円	69,932	23,769	51,472
一般財源	千円	14,595	6,061	19,731
H24特定財源の内訳		離島航路国庫補助金、離島航路県補助金、一般会計繰入金		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	やや遅れ	情報発信の強化、渡船利用者の利便性の向上はできたが、目標とした収益率においては、大島航路では、若干目標値を下回った。また、航海距離が2倍となり経費増となったにもかかわらず、地島航路においては目標を達成できた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

1渡船運営審議会①審議会新委員の選任及び審議会の開催。②航路再編後の事業評価の実施、課題点の抽出。③新造船建造にかかる意見聴取等2航路監査事務、許認可申請事務の合理化、効率化を図る。

事業費	特定財源	一般財源	
64,155 千円	43,609 千円	20,546 千円	

事業名称

運航管理事業

事業番号

36008

所管コード 所管名

360601	産業振興部渡船課渡船係
--------	-------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

離島振興法、離島航路整備法、海上運送法、船員法、渡船条例等

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
2 節	公共交通の利便性の向上

将来像	公共交通で、快適に移動できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	離島住民
どのような 手段で	・渡船の安全で正確な運航を実施する。 ・渡船運航に係る保険契約、旅客の運送に伴う乗船券の整備、小荷物等取扱に係る業務を行う。 ・使用船舶の出入港に係る綱取り業務や乗船券改札等運航に係る業務を行う。 ・船舶の航行や人命の安全を確保するため、船舶の所要施設を定期的に整備し、定期検査、中間検査を実施するための契約を行う。
どのような 状態に	乗船客が安全でしかも快適に渡船の利用ができるため。

職務名

渡船運航中の船客の安全確保業務	船員の資格、免許の更新時期の管理業務
始発前終着後の船舶及び港湾施設の点検並びに安全訓練の実施	乗船券に係る管理事務
定期検査及び中間検査、日常整備等船舶維持管理業務に係る業務	船員の社会保険に関する事務
船舶及船内備品、航路付帯設備の点検・整備事務	整備等船舶維持管理事務
船舶離着岸時の補助及び可動橋の操作業務	運航にかかる一般事務
事故補償のための旅客保険、船舶保険及び自動車航送保険の契約事務	
船員雇用事務及び労務管理業務	

平成24年度実施計画

安全で快適な運航を確保するため、船舶の的確な整備と船員の各種訓練を実施する。
--

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
2航路3隻、4港の維持・管理、運航を効率的に実施する。		神湊港渡船ターミナル及び周辺施設整備が完了し、乗船客の安全と快適性の向上が図れた。また、教育用ビデオを用い安全研修を実施したほか、委託業者を対象に接遇研修を実施し安全とサービスの向上に努めた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	船舶機械事故	事故発生件数	件				1
活動	船客事故	事故発生件数	件				1
活動	陸上施設事故	事故発生件数	件				

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	228,226	241,290	265,130
特定財源	千円			135,856
一般財源	千円			129,274
H24特定財源の内訳		国庫補助金、県補助金、一般会計繰出金		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	やや遅れ	ハード面の改善とソフト面(安全研修・接遇研修の開催)を行い、安全性と接遇について改善に努めたため。また、事故発生後、迅速・的確に対処するとともに、再発防止の対策を講じた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

安全で快適な運航を確保するため、保険契約や安全訓練の実施、出入港に係る綱取り等業務を行う。			
事業費 292,584 千円	特定財源 163,594 千円	一般財源 128,990 千円	

事業名称

事業番号

待合所運営事業

36009

所管コード 所管名

360601	産業振興部渡船課渡船係
--------	-------------

新規／継続

事務区分

継続	自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)
----	--------------------------

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

宗像市渡船条例

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
2 節	公共交通の利便性の向上

将来像	公共交通で、快適に移動できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	渡船利用者
どのような 手段で	・渡船ターミナル、待合所の維持管理を行う。 ・渡船ターミナル、待合所での窓口業務を行う。
どのような 状態に	渡船の運航が滞りなく実施できるように、事業に関係する施設の維持管理や窓口での円滑な業務を行うこと。

職務名

施設(ターミナル、待合所)の維持管理、補修等管理業務	
大島ターミナル窓口業務	
神湊ターミナル窓口業務	
地島白浜待合所窓口業務	

平成24年度実施計画

大島、神湊、地島の待合所(4ヶ所)について待合所の維持・管理及び大島、神湊における券売業務を実施する。

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
大島、神湊、地島の待合所(4ヶ所)について宗像漁業協同組合と業務委託契約を締結し、窓口業務・券売業務を実施した。		自動券売機を設置し、渡船利用者の利便性に安全性の向上に努めた。併せて、事務の効率化を図った。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	事故件数(施設)	陸上施設における事故発生件数	件				

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	4,733	5,866	9,236
特定財源	千円	3,916	4,674	
一般財源	千円	817	1,192	9,236
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	遅滞なく業務委託契約を締結し業務を実施した。また、施設にかかる事故の発生もなかったため。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

附属施設の適正な維持管理・運営を行う。窓口での円滑な事務を行う。			
事業費	特定財源	一般財源	
24,060 千円	千円	24,060 千円	

事業名称

大島港湾施設維持管理事業

事業番号

39004

所管コード 所管名

360801	産業振興部元気な島づくり課元気な島づくり係
--------	-----------------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 17 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 3 章	交通施設等の整備
2 節	公共交通の利便性の向上

将来像	公共交通で、快適に移動できるまち
-----	------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	利用者に対して
どのような 手段で	快適な港湾施設の運営のため、大島港の緑地、トイレ、松林の安全点検、維持管理を行う。
どのような 状態に	利用者にとって危険箇所の無い港湾施設(緑地、トイレ、松林)を目指す。

職務名

港湾施設管理運営	

平成24年度実施計画

公園緑地の草取り、トイレ掃除

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
港湾緑地、港湾運動公園の利用者に不満を抱かせることなく整備がなされた。	25年度から委託するための時期などのデーターをとることができた

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	事故発生件数	管理不備に起因するもの	件				

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	2,064	1,731	1,275
特定財源	千円	62	36	36
一般財源	千円	2,002	1,695	1,239
H24特定財源の内訳		港湾統計調査		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	大変順調	港湾緑地、港湾運動公園ともに清掃業務については常に景観を損なうことなく遂行できた。また、事故発生に関しても0件であったため。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

公園緑地の草取り、トイレ掃除			
事業費	特定財源	一般財源	
716 千円	36 千円	680 千円	

事業名称

観光拠点施設管理運営事業

事業番号

32006

所管コード 所管名

360102	産業振興部商工観光課観光係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 20 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
1 節	観光の振興

将来像	多くの観光客が訪れ、まちがにぎわっています
-----	-----------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市内外からの観光客
どのような 手段で	観光拠点施設として、公共施設の機能を最大限に発揮できるよう、館の管理を行うとともに、その運営を行う。
どのような 状態に	「観光地むなかた」を目指す拠点として周辺の観光施設と一体となった地域振興に取り組み、利用者が、利用しやすく、来館者(回数)が増えることを目指します。

職務名

観光物産館管理運営業務	

平成24年度実施計画

・定期的な運営会議の実施による効率化、円滑化・通常の維持管理・5年目を迎えるに当たり①白蟻の保証期間切れに伴う白蟻防除の実施②経年劣化に伴う外部改修工事(塗装等)の実施

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につなりました)
周辺の観光施設と連携したイベントを実施した。HPの見直し、地産地消のレシピ配布、季刊誌発行により、利用者への情報発信を積極的に行った。		観光地むなかたを目指す拠点としての地域振興ができた。来場者数、HPへのアクセス件数が増加した。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	観光物産館の来場者数	道の駅、物産館、レストラン利用者	千人	1560	1633	1633	1635
成果	東部観光拠点施設(仮称)の来場者数	東部観光拠点施設の利用者	千人				
成果	観光物産館のHPアクセス件数	アクセス件数アカウント	件/日	200	200	650	

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	10,057	7,382	19,000
特定財源	千円	3,070	650	650
一般財源	千円	6,987	6,732	18,350
H24特定財源の内訳		県支出金		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	大変順調	観光地むなかたを目指す拠点としての地域振興ができた。来場者数、HPへのアクセス件数が増加した。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

・定期的な運営会議の実施による効率化、円滑化を図る。・通常の維持管理。

事業費 12,484 千円	特定財源 600 千円	一般財源 11,884 千円	
------------------	----------------	-------------------	--

事業名称

事業番号

観光施設維持管理事業

32008

所管コード 所管名

360102	産業振興部商工観光課観光係
--------	---------------

新規／継続

事務区分

継続

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
1 節	観光の振興

将来像	多くの観光客が訪れ、まちがにぎわっています
-----	-----------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	観光客をはじめとする施設利用者
どのような 手段で	・観光施設に付帯するトイレの清掃・管理(許斐山公園、城山登山道入口、山田地蔵尊入口)・城山登山道入口トイレ、山田地蔵尊トイレの合併浄化槽の維持管理・城山登山道入口トイレ水汲み上げポンプ維持管理・観光施設の除草・草刈・レンタサイクル運営、維持管理
どのような 状態に	来訪者や登山客など観光施設利用者が、安心して、快適に施設を利用しやすい状態に保つ。

職務名

観光施設維持管理(トイレ:城山、許斐公園、宗生寺、大島等)	
観光施設維持管理(登山道、公園:城山、新立山、赤木公園)	
観光施設維持管理(新規:北斗の水くみ公園)	

平成24年度実施計画

観光施設や観光案内看板等の維持管理を行う。

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容) 観光施設、登山道に設置されているトイレの清掃、登山道、公園が安全に利用できるような整備を関係団体と連携して行った。風水害や落雷などに伴う施設の異状や害虫の発生の通報にも各事業所や団体と連絡を迅速に行い、支障を解消できた。	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました) 関係団体との連携を速やかに行い、災害による倒木や害虫の発生や経年劣化に伴う施設の異状など各種問題を素早く解決した。結果として観光客など施設利用者の安全性及び利便性を確保できた。
--	-----	--

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	維持管理数		件	28	28	28	28

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	9,467	10,103	10,294
特定財源	千円	300	300	
一般財源	千円	9,167	9,803	10,294
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	平成24年度の実施計画を概ね実施できた。目立ったクレームもなく、問題が起きた際も素早く対応することができた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

観光施設や観光案内看板等の維持管理を行う。			
事業費	特定財源	一般財源	
10,301 千円	千円	10,301 千円	

事業名称

釣川河口域活性化事業

事業番号

32009

所管コード 所管名

360102	産業振興部商工観光課観光係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 20 年度 ～ 平成 25 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
1 節	観光の振興

将来像	多くの観光客が訪れ、まちがにぎわっています
-----	-----------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	観光客・市民
どのような 手段で	道の駅むなかたがある釣川河口域を観光の拠点とするため、釣川河口域活性化計画に基づき、「北斗の水汲み海浜公園」整備を実施する。
どのような 状態に	釣川河口右岸域に道の駅むなかた・海の道むなかた館・宗像大社・495号沿いの観光施設などから、観光客が回遊している状態、海水浴、マリンスポーツ、釣りなどの観光客が訪れ、にぎわっている状態を目指す。

職務名

釣川河口域活性化計画の推進	

平成24年度実施計画

関係機関、地元との協議を踏まえ、工事その他の事業を進める。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
関係機関、地元との協議を踏まえ、実施設計、建築工事を実施した。	建築工事の一部が次年度へ繰越。平成25年7月19日事業完了予定。8月3日オープン。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	観光入込み客数	観光施設、旅館等に対し入込み客数を調査	万人	651	663	655	未実施

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	1,064	19,253	46,337
特定財源	千円			25,200
一般財源	千円	1,064	19,253	21,137
H24特定財源の内訳		合併特例事業債		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	やや遅れ	国有保安林の森林管理局と福岡森林管理署との座標の整合性がとれていなかったため、境界測量に時間を要したため、建築工事着工が遅れた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

北斗の水くみ海浜公園の建築工事実施・完了。			
事業費 36,783 千円	特定財源 千円	一般財源 千円	

事業名称

観光推進事業

事業番号

32010

所管コード 所管名

360102	産業振興部商工観光課観光係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
1 節	観光の振興

将来像	多くの観光客が訪れ、まちがにぎわっています
-----	-----------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	宗像市を訪れる市外からの観光客や、市内観光施設を利用される住民。また、旅行を検討されている方。
どのような 手段で	観光客に対して市内外での祭り(イベント)等での観光PR・ツアー造成に向けた旅行会社への営業・テレビ、新聞社等への観光情報の提供(パブリシティ)・新聞、雑誌等への出稿(ペイドパブリシティ)・筑前玄海地域観光推進協議会による広域観光事業の実施、観光協会の指導・助言
どのような 状態に	県内、県外から観光客を訪れ、市内全域(大島、地島含む)を観光客が回遊している状態を目指しています。

職務名

観光推進業務	

平成24年度実施計画

宗像観光協会と連携し、観光PR、ツアー商品造成等の事業を実施。広域観光については、主に玄海地区観光推進協議会を核として、広域観光イベントの開催などを行う。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
宗像観光協会と連携し、共同作成パンフレットの改定と、宗像市内へのバスツアー造成へ向けた旅行代理店への営業を行った。加えて各種市内イベントのサンプリングやPR活動、各種パンフレットの作成を実施した。		改定前に比べより使いやすく見やすいパンフレットの作成ができた。ツアー造成に向けた営業では国内数箇所を回り、実際に造成や協定の締結など実績も残せた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	観光入込み客数	観光施設、旅館等に対し入込み客数を調査	万人	651	663	655	未調査
成果	テレビ、雑誌等での紹介件数	テレビ、雑誌への紹介件数	件	95	118	105	86

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	7,827	28,778	25,526
特定財源	千円		10,546	
一般財源	千円	7,827	18,232	25,526
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	入込客数は調査時期の都合1年ずつずれ込む為昨年度データは無いが過去の実績からも順調に目標数を上回る増加が見られる。また、テレビや雑誌掲載に関して件数としては目標に及んでないものの、道の駅むなかたの売り上げ実績や、新設の海の道むなかた館、唐津街道では赤間宿のイベントの賑わいや原町の景観の良さなど特集として取り上げられる実例が多くなっておりと実感しているため。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

宗像観光協会と連携し、観光客受入体制の強化に向け、観光PRイベント、ホームページ等による観光情報の発信等を実施する。広域観光は、主に玄観推を核として、広域観光イベントの開催などを行う。平成25年度からは、さつき松原海浜パーク(仮称)を活用したマリンスポーツイベントなどのソフト事業を実施する。			
事業費 27,172 千円	特定財源 千円	一般財源 27,172 千円	

事業名称

事業番号

観光物産館整備事業

32014

所管コード 所管名

360102	産業振興部商工観光課観光係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかず任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 19 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
1 節	観光の振興

将来像	多くの観光客が訪れ、まちがにぎわっています
-----	-----------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市外からの観光客や市内からの利用者をはじめとする道の駅むなかた来訪者。
どのような 手段で	来館者の混雑解消と出品者(量)の増加を図り、産業振興に寄与するため、観光物産館の売場面積を増やすと同時に不具合箇所を改修する工事を行う。
どのような 状態に	「観光地むなかた」を目指す拠点として周辺の観光施設と一体となった地域振興に取り組み、観光物産館利用者が、利用しやすく、来館者(回数)が増えることを目指します。

職務名

観光物産館整備業務	

平成24年度実施計画

4年に1度法令上定められている白蟻防除を行う。また施設が5年目を迎え、痛みが出始めている外部の改修工事(塗装・防水)を行う。施設への来場者増と、これに伴う市内での交流人口の増大を図るため、貸自転車事業開始のための整備を行う。増改築工事に向けて、測量や地質調査、実施設計に着手する。

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
外部の改修工事(塗装・防水)を行った。増改築工事に向けて、測量や地質調査、実施設計に着手した。		施設への来場者が増加した。市内での交流人口が増大した。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	観光物産館の来場者数	道の駅、物産館、レストラン利用者	千人	1560	1633	1633	1635

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	714	30,396	10,563
特定財源	千円	685	26,300	9,400
一般財源	千円	29	4,096	1,163
H24特定財源の内訳		合併特例事業債		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	外部の改修工事(塗装・防水)を行った。増改築工事に向けて、測量や地質調査、実施設計を滞りなく実施した。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

売り場面積の拡大と従業員スペースを改善するため、物産館の増築と改修工事を行う。			
事業費 263,200 千円	特定財源 247,190 千円	一般財源 16,010 千円	

事業名称

釣川河口域活性化実証実験事業

事業番号

32016

所管コード 所管名

360102	産業振興部商工観光課観光係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかず任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 22 年度 ～ 平成 24 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
1 節	観光の振興

将来像	多くの観光客が訪れ、まちがにぎわっています
-----	-----------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市民、観光客、市内事業者
どのような 手段で	観光客・市民に対して釣川広域活性化計画に基づき、市の観光拠点のひとつである釣川河口域での各種イベント等実証実験を行う。
どのような 状態に	釣川河口の利便性や活用性が向上し、恒常的に観光客や市内在住者など多くの人々で当該区域が賑わう事

職務名

釣川河口域活性化計画の推進	

平成24年度実施計画

釣川河口域における観光拠点としての周知と、利便性・活用性の向上をはかるため、実証実験として各種イベントを開催するもの。
--

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
6月に第3回となったマリンフェスタ(マリンスポーツ体験イベント)の開催、11月に北斗の水くみ観望会(天体観望イベント)を開催した。		3回目の開催となり、夏イベントの一角として定着してきている。11月開催の北斗の水くみ観望会についても、当地区が稀な天体観望を出来る場所として周知出来、整備中の公園のPRにもつながった。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	観光入込み客数	観光施設、旅館等に対し入込み客数を調査	万人	651	663	655	県の調査開

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	1,250	500	500
特定財源	千円			
一般財源	千円	1,250	500	500
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	終了	実証実験で行ったイベントが定着し集客に結びついており、当事業が完了していると考え。平成25年度からは収集できたデータなどを基に本格実施に移行する。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

事業費	千円	特定財源	千円
		一般財源	千円

事業名称

事業番号

離島振興事業

8002

所管コード 所管名

360801	産業振興部元気な島づくり課元気な島づくり係
--------	-----------------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 15 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
1 節	観光の振興

将来像	多くの観光客が訪れ、まちがにぎわっています
-----	-----------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	地島地区住民及び大島地区住民、地島及び大島への来島者
どのような 手段で	①過疎地域自立促進特別措置法関連 ②辺地・過疎事務 県過疎対策協議会等に係る事務(要望ほか) ③県離島振興対策協議会 県離島対策振興協議会等に係る事務(要望ほか) ④瀬山牧場花園事業(H22から) ⑤渡船航送運賃助成 ⑥大島クリーンアップ ⑦大島観光花いっぱい事業
どのような 状態に	離島の振興を目的に各種事業を実施することにより、島が活性化し、島民が元気になる。また、島民と島外からの来訪者との交流が図られることを目指す。

職務名

渡船自動車航送運賃等助成事務	島内交通検討事業
辺地・過疎事務	情報発信強化事業
離島振興対策事務交流促進事業	教育旅行・研修受入事業
緊急雇用創出事業臨時特例基金事業	島外アクセス検討事業
交流体験プログラム事業	漁村民泊による交流・体験事業
特産品開発事業	牧場利活用事業
中間支援機能確立事業	

平成24年度実施計画

① 大島海洋体験施設「うみんぐ大島」を中心とした大島活性化の事業連携の実施、②大島クリーンアップ事業実施、③瀬山牧場花園事業を実施(菜の花、コスモス、ひまわり)、④島内バス輸送事業を実施、⑤離島課題解決に関する調査事業を実施

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につなりました)
大島、地島の活性化事業、クリーンアップ等清掃活動、菜の花・ひまわり・コスモス等植栽事業、離島の課題解決に関する調査事業、離島振興計画策定事業の実施		25年度から開始する離島振興計画を策定し、新たな離島振興の準備を行うことができた。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	花園事業	面積(ひまわり、コスモス、菜の花)	アール	230	310	230	310
	クリーンアップ事業	参加者数	人	637	170	170	46

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	30,469	6,021	12,712
特定財源	千円	16,291	4,256	7,770
一般財源	千円	14,178	1,765	4,942
H24特定財源の内訳		離島振興基金利子、緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金、過疎地域自立促進計画ソフト事業補助金		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	24年度の実施計画を概ね実施できた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

①大島海洋体験施設「うみんぐ大島」を中心とした大島活性化の事業連携の実施、②大島クリーンアップ事業実施、③瀬山牧場花園事業を実施(菜の花、コスモス、ひまわり)、④島内バス輸送事業を実施、⑤離島課題解決に関する調査事業を実施、⑥交流体験プログラム事業、⑦特産品開発事業、⑧中間支援機能確立事業、⑨島内交通検討事業、⑩牧場利活用事業			
事業費 17,456 千円	特定財源 2,720 千円	一般財源 14,736 千円	

事業名称

事業番号

離島振興施設運営事業

8005

所管コード 所管名

360801	産業振興部元気な島づくり課元気な島づくり係
--------	-----------------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 23 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
1 節	観光の振興

将来像	多くの観光客が訪れ、まちがにぎわっています
-----	-----------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	すべての人に対して、
どのような 手段で	大島の活性化の拠点施設として、旅館・民宿や漁業者、地域住民らと連携しながら、うみんぐ大島の魅力あるメニューや企画イベントをPRすることで
どのような 状態に	来場者や交流人口の増加させ、地域雇用の創出や旅館・民宿の増客、島内消費の増額など、地域の活性化につなげる。

職務名

大島海洋体験施設運営事業	

平成24年度実施計画

大島海洋体験施設の指定管理期間が満了するため、指定管理事業所の経営内容を検証し、次年度以降の方向性を決定する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
平成23年度はオープン直後の先行投資など経費負担が大きく一部収支のバランスがとれていなかったことを受け、指定管理事業所と協議を重ねて経営状況を検証し、次期の適正な指定管理の内容等を決定した。	魚の仕入れ状況など、必要経費や業務内容を検証することで、経費削減など経営改善につながり、単年度収支で黒字を計上した。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	施設利用者数		人		22158	21000	19196

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	4,937	23,024	11,809
特定財源	千円		7,500	7,000
一般財源	千円	4,937	15,524	4,809
H24特定財源の内訳		過疎対象事業費		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	集客は予定人数を下回ったが、経営改善の効果が出てきており、収益性が向上している。また、経済効果として24年度に約68,000千円を計上するなど、島内消費をはじめ地域経済への貢献度も高まっている。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

集客による経営体制の安定化を図るとともに、地域活性化に資するよう、地域の旅館民宿、漁業者等との連携を進める。また、利用者の利便性・安全性・快適性向上のための施設整備を行う。

事業費 32,466 千円	特定財源 千円	一般財源 32,466 千円	
------------------	------------	-------------------	--

事業名称

事業番号

かのこの里管理運営事業

34002

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかず任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	---

関係法規・条例

地方自治法、宗像市農産物直販施設条例

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	地域の農業者に対して／消費者に対して
どのような 手段で	農業者が生産した農産物及びその加工品等を販売し収入を得る場を提供することで／安心・安全で新鮮な地元産の農産物及びその加工品等を供給することで
どのような 状態に	農業者の所得が向上し経営が安定した状態。また、地産地消が促進されるとともに食の安全が確保された状態。

職務名

かのこの里の管理運営業務	
関係機関等との連携業務	

平成24年度実施計画

消費者ニーズに対応した安心・安全で新鮮な農産物の生産と供給を進める。学校給食への地元産農産物供給体制を改善する。

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
・指定管理者による施設の管理・運営に対する助言及び指導・第3期指定管理者指定に係る手続き・学校栄養士、直売所、市との協議・意見交換会の開催		・指定管理者により施設の管理・運営が適正になされた・第3期指定管理者として、第2期に引き続いてとれとれプラザかのこの里利用組合が指定され、条例の規定に基づき、適正に手続きが行われた・意見交換会の開催により、学校給食への食材供給に関する現状と課題を3者で共有した

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	販売額	かのこの里の販売額	千円	309715	333724	300000	343313
成果	農産物出品者数	かのこの里の組合員数	人	284	295		307

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	2,200	2,204	2,204
特定財源	千円	2,200	2,204	2,204
一般財源	千円			
H24特定財源の内訳		宗像市農産物直販施設決算剰余金		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	大変順調	平成24年度売上高が前年度比約3%増加し、組合員数も12名増加していることから、施設が農業者にとって収入を得る場所として十分に機能しており、地域の農業振興に寄与していると判断できるため。また、出品者に対してトレーサビリティや食品衛生に関する研修を実施するなど、消費者に安心・安全な農産物を供給する意識を高める取組みを行っているため。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

消費者ニーズに対応した安心・安全で新鮮な農産物の生産と供給を進める。学校給食への地元産農産物供給体制を改善する。			
事業費	特定財源	一般財源	
2,445 千円	2,445 千円	千円	

事業名称

中山間地域等直接支払事業

事業番号

34003

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

宗像市中山間地域等直接支払交付金交付要綱、中山間地域等直接支払交付金等交付要綱、福岡県

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	中山間地の条件不利な農用地に対して
どのような 手段で	交付対象農用地において、耕作放棄防止の為の適正な農業生産活動や、多面的機能増進活動等の取組について農業者間で集落協定を締結し、協定に基づいて活動を行った集落に交付金を交付することで
どのような 状態に	耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、多面的機能を維持することを目指している。

職務名

協定締結	
集落への指導、交付金交付	
現地確認	
県手続き	

平成24年度実施計画

変更集落協定書の締結、その他法手続きを行う。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
・協定書の変更その他の法手続きを遅滞なく行った。・集落の活動に対し、適宜指導・助言を行った。	集落において交付金を活用し、農業生産活動や農道・水路の清掃等の共同活動が行われ、中山間地域の農業生産が維持されるとともに農用地の保全が図られた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	対象農用地面積	多面的機能が維持できた農用地の面積	ha	84	84	84	84

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	11,971	12,157	12,072
特定財源	千円	8,711	8,747	8,688
一般財源	千円	3,260	3,410	3,384
H24特定財源の内訳		中山間地域等直接支払交付事業費		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	協定の変更その他の法手続きを遅滞なく行うことができたため。また、第3期対策初年度の平成22年度に協定を締結した13集落全てで、協定どおり農業生産の維持活動が行われている事を確認できたため。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

変更集落協定書の締結、その他法手続きを行う。			
事業費	特定財源	一般財源	
12,218 千円	8,779 千円	3,439 千円	

事業名称

事業番号

ため池等関連業務

34004

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

事務区分

継続

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

宗像市ため池の保全に関する条例

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	集落(ため池管理者、農業従事者)
どのような 手段で	①ため池条例に基づく、ため池管理者からのため池譲渡申請に対して、ため池用地の譲受事務・所有権移転登記を行う。②ため池管理者の賠償責任保険や農業従事者の傷害保険の加入推進・とりまとめを行う。
どのような 状態に	ため池条例の対象ため池すべてが適正に管理され、保全されている。

職務名

ため池等所有権移転事務	
ため池保険・土地改良傷害保険事務	
ため池条例の改正	

平成24年度実施計画

・ため池の所有権移転登記事務・所有権者の相続調査や登記事務相談などの支援・ため池賠償保険、土地改良施設管理活動中の傷害保険加入事務

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
農業施設管理作業中の傷害保険、ため池の賠償責任保険について各集落農事組合からの申込とりまとめを行った。	農業用施設を管理する際の安全性の確保につながった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	ため池譲渡(所有権移転)件数		池	5		2	1

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	2,448	2,315	447
特定財源	千円	617	625	158
一般財源	千円	1,831	1,690	289
H24特定財源の内訳		ため池等賠償傷害保険料地元負担金：158千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	やや遅れ	ため池の所有権移転登記件数目標2件のところ、1件にとどまった。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

・ため池の所有権移転登記事務・所有権者の相続調査や登記事務相談などの支援・ため池賠償保険、土地改良施設管理活動中の傷害保険加入事務・ため池条例見直しの検討

事業費	551 千円	特定財源	158 千円	一般財源	393 千円	
-----	--------	------	--------	------	--------	--

事業名称

むなかた地域農業活性化機構業務

事業番号

34006

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 22 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	農業者
どのような 手段で	農地利用集積円滑化事業(農地の所有者を代理して借主を探す事業)、認定農業者や集落営農組織等の研修会開催、法人化のアドバイス、農作業ヘルパー紹介、農業体験農園の運営アドバイス、就農相談対応、就農研修、地元農産物PRブース出店、特産品開発助成金の交付等
どのような 状態に	農業の経営規模が拡大し、スケールメリットを生かした効率的な農業経営となること。認定農業者や集落営農組合などの担い手(基幹的農業者)の農業経営が改善すること。新規就農者が市内に定着すること。市民の地域農業に対する理解が進み、地元農産物の消費が拡大すること。

職務名

活性化機構経営指導事務	
活性化機構への委託業務に関する契約締結、監督事務	
認定農業者の育成及びフォローアップ・経営指導業務	

平成24年度実施計画

農地の面的な集積を推進する。独自の新規就農相談会等を開催する。認定農業者に対する研修会開催、農業経営法人化支援、農業起業相談対応などにより、農業経営の改善を支援する。農産物の消費拡大PR(試食ブース出展など)を実施する。

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
農地利用集積円滑化事業、認定農業者協議会等による研修会及び経営改善個別面談等、法人化アドバイス(1社)、農作業ヘルパー研修(21人)、農業体験農園PRツアー、就農相談対応(10人)、特産品開発助成金交付(1団体)ほか		15.7ha(うち補助金対象11.3ha)の農地を集積した。農事組合法人(株式会社)1社を設立した。農作業ヘルパー21人の雇用が生まれた。農業体験農園37区画の利用があった。新たに4人が就農した。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	農地の面的集積面積	戸別所得補償規模拡大加算の対象となった面的集積面積	ha	1.3	6.6	5	11.3
成果	新規就農者数	宗像市内で新たに農業を始めた人及び始める見込みがつけられた人	人	2	6	3	4

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	4,612	6,398	6,501
特定財源	千円			
一般財源	千円	4,612	6,398	6,501
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	当初計画していた事業については、各事業ともに概ね計画どおりに実施できた。また、認定農業者フォローアップ面談等の新たな事業にも取り組み、一定の成果をあげることができた。宗像地域担い手育成総合支援協議会を解散するなど、既存事業の見直しとスクラップや事務改善も行うことができた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

農地の面的な集積を推進する。認定農業者に対する研修会開催、農業経営法人化支援、農業起業相談対応などにより、農業経営の改善を支援する。農産物の消費拡大PR(試食ブース出展など)を実施する。			
事業費	特定財源	一般財源	
6,500 千円	千円	6,500 千円	

事業名称

農業用機械・施設導入等支援事業

事業番号

34009

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	---

関係法規・条例

宗像市補助金等交付規則、宗像市土地改良事業費等補助金交付要綱、福岡県園芸農業等総合対策

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	農業経営改善計画を作成し、認定を受けた農業者、また、作成し、認定を受けようとする農業者に対して
どのような 手段で	・経営改善計画の作成支援、経営相談を実施・認定農業者が実施する農業用機械や施設の導入などハード整備に対する支援・農業者の法人化や複合化などの経営基盤強化、経営規模の拡大に対する支援
どのような 状態に	・認定農業者等が経営改善計画に従って、高性能機械の導入や経営規模の拡大を実現することにより、農業所得が増加し、経営が安定する。

職務名

活力ある高収益型園芸産地育成事業	
水田農業担い手機械導入事業	
利子補給事業	
水田農業経営力強化事業	
地域就農支援体制構築促進事業	
農業経営改善計画の作成支援	
雇用システム実証事業	

平成24年度実施計画

・経営改善計画の作成支援・事業の周知、施設・機械の導入希望者の把握・要望内容が補助要件に合致しているか審査・国・県への法定手続き

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
県の農業用機械及び施設導入等に係る補助事業の周知、施設・機械の導入希望者の把握。事業実施計画の内容が補助要件に合致しているかの審査。国、県への要望提出。		・農業経営改善計画の認定6件・農業用機械2件、施設4件を導入・農業経営の法人化による経営基盤強化(1件)

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	導入数	機械・施設の導入数	件	5	5	5	6
成果	経営改善計画の認定率	経営改善計画の認定申請数に対する認定数の割合	%	100	100	100	100

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	35,119	9,969	20,115
特定財源	千円	32,319	8,977	17,636
一般財源	千円	2,800	992	2,479
H24特定財源の内訳		農業費補助金		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	・認定農業者に対し、補助事業について適宜周知を行い、目標を上回る6件の農業用機械・施設が導入されたため。・農業経営改善計画の作成を支援するとともに、既に認定を受けている農業者に対し、計画の実現に向けて適宜指導・助言を行ったため。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

・経営改善計画の作成支援・事業の周知、施設・機械の導入希望者の把握・要望内容が補助要件に合致しているか審査・国・県への法定手続き

事業費 34,030 千円	特定財源 24,397 千円	一般財源 9,633 千円	
------------------	-------------------	------------------	--

事業名称

事業番号

経営所得安定対策直接支払推進事業

34010

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

事務区分

継続

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 22 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

経営所得安定対策実施要綱、直接支払推進事業実施要綱

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	宗像市内で水田を耕作している農業者
どのような 手段で	国から農業者に配分された水稻の作付数量(面積)を達成させるため、宗像地域水田農業推進協議会を中心に推進を行う。
どのような 状態に	米の生産調整と戸別所得補償制度の推進で、米価安定と農業者の経営安定が図られている。

職務名

宗像地域水田農業推進協議会に対する支援	

平成24年度実施計画

水稻の作付け配分の目標達成に向けて、農業者へ加工用米や新規需要米の作付拡大の働きかけを行い、戸別所得補償制度の周知徹底を図る。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
水稻の作付け配分の目標達成に向けて、農業者へ加工用米や新規需要米の作付拡大の働きかけを行い、戸別所得補償制度及び関連制度の周知を図った。	H23年度に比べH24年度は、加工用米と新規需要米の作付が合計で1.7ha増加した。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	作付け面積の達成率	水稻生産実施面積/水稻生産目標面積	%	102	105	100	105

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	37	29	10,030
特定財源	千円			7,253
一般財源	千円	37	29	2,777
H24特定財源の内訳		農業者戸別所得補償制度推進事業費補助金		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	やや遅れ	加工用米や新規需要米の作付は少しずつ増加しているが、大規模経営者の中に減反を実施しない農業者があり、結果として市全体では主食用米の5%の過剰作付となった。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

水稻の作付け配分の目標達成に向けて、農業者へ加工用米や新規需要米の作付拡大の働きかけを行い、戸別所得補償制度の周知徹底を図る。			
事業費	特定財源	一般財源	
10,885 千円	7,253 千円	3,463 千円	

事業名称

事業番号

有害鳥獣捕獲事業

34012

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

鳥獣被害防止特措法、鳥獣保護法、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	狩猟免許を所持する者、農業従事者
どのような 手段で	宗像市有害鳥獣駆除部会に駆除および緊急出動を委託。捕獲頭数を増やすため箱罟の貸出しを実施。農業者に被害防止策として防護柵購入費用補助および地域ぐるみの被害防止活動補助を実施。駆除資格者を増やすため、新規狩猟免許取得者への経費補助を実施。
どのような 状態に	有害鳥獣による農作物被害の減少およびイノシシ被害による生活不安の解消。

職務名

宗像市・福津市・岡垣町鳥獣被害防止対策広域連絡協議会	
有害鳥獣防除対策事業費補助金交付業務	
有害鳥獣捕獲許可業務	
宗像市有害鳥獣駆除部会委託業務	
宗像地区有害鳥獣広域駆除協議会業務	

平成24年度実施計画

有害鳥獣捕獲事業の効率的な捕獲の実施。農作物被害防止のための防除柵拡充。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
有害鳥獣駆除を委託。箱罟の貸出しを実施。電気柵および金網柵の購入費用補助および地域ぐるみの被害防止活動補助を実施。狩猟免許取得に向けた周知活動を実施し、新規狩猟免許取得者への経費補助を実施。	イノシシの捕獲頭数が増加した。新規補助事業により、狩猟免許新規取得者増加および地域ぐるみでの捕獲活動に取り組む地域が増加した。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	イノシシ捕獲頭数	捕獲実績より	頭	492	788	800	814
活動	鳥駆除羽数	捕獲実績より	羽	1488	1061	1200	1179

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	5,688	16,937	5,149
特定財源	千円	145	168	142
一般財源	千円	5,543	16,769	5,007
H24特定財源の内訳		県補助金（講師料、許可事務交付金）		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	やや遅れ	イノシシの捕獲頭数は増えたものの、渡りカラス、ヒヨドリの出現数が少なく捕獲数目標には届かなかったためやや遅れと評価。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

有害鳥獣捕獲事業の効率的な捕獲の実施。イノシシ肉の利活用に向けた買取制度の整備および捕獲後の適切な処理の周知指導。農作物被害防止のための防除柵拡充。			
事業費	特定財源	一般財源	
8,225 千円	115 千円	8,110 千円	

事業名称

畜産総合対策事業

事業番号

34013

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	畜産事業者
どのような 手段で	畜産経営農家への情報提供及び経営指導を実施する。
どのような 状態に	畜産経営農家への防疫対策及び臭気対策、畜産経営等の指導を行い、快適な環境づくりと経営の安定を目指す

職務名

畜産業活性化業務	

平成24年度実施計画

研修会への参加。防疫体制に沿って、非常時の体制に備える。臭気対策の瞬時的な対応を実施する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
鳥インフルエンザ、口蹄疫などの発生防止と発生時の緊急体制、畜産の臭気対策について県・畜産業者と一緒に情報提供、指導を行った。	畜産物の広域にわたるような重大な疾病の発生を防ぐことができた。臭気に対し即時確認・対応することで住民からの苦情が減少した。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	乳用牛予防接種頭数	予防実績より		266			
活動	情報提供・指導回数				10	20	10

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	451	181	152
特定財源	千円			
一般財源	千円	451	181	152
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	臭気対策について、適宜事業者へ情報提供を行うとともに県・畜産業者と一緒に、結果として住民からの苦情減少につながったため。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

防疫対策研修会への参加および畜産業者への情報提供。防疫体制に沿って、非常時の体制に備える。臭気対策について、関係各所と適宜協力しながら瞬時的な対応を実施する。			
事業費	154 千円	特定財源	千円
		一般財源	154 千円

事業名称

事業番号

農地・水保全管理支払交付金事業

34022

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

事務区分

継続

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 19 年度 ～ 平成 年度	？ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	-----------

関係法規・条例

農地・水保全管理支払交付金実施要綱(平成25年5月16日24農振第2682号農林水産事務次官依命)

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	地域の農業者を中心として構成される活動組織
どのような 手段で	・協定に基づき、農道の草刈や農業用施設の維持管理等、農地・水・環境保全の取り組みを実施した活動組織に対し、交付金を交付する。・老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等を行う取り組みを実施した活動組織に対し、交付金を交付する(平成24年度より実施)。・市は、活動組織への指導・助言や活動の実施状況の確認等を行う。
どのような 状態に	・地域共同の活動により、農地・農業用水等の農業施設が良好に保全管理されている。・集落内で老朽化が進む農業用水路・農道等の農業施設が更新され、長寿命化が図られる。

職務名

共同活動支援事業	
向上活動支援事業	

平成24年度実施計画

集落への制度の周知、その他法手続きを適正に行う。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
15集落の活動組織と協定を締結し、県及び地域協議会への手続を適正に実施し、活動の実施に関して支援を行った。		地域での共同作業により、農地・農業用水等の農業施設の良好な保全管理につながった。集落内で老朽化が進む農業用水路等の施設が更新され、長寿命化が図られた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	対象農用地面積	農地・水・環境保全活動を実施した農用地の面積	ha	490	490	477	485

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	5,824	5,731	7,477
特定財源	千円	210	159	174
一般財源	千円	5,614	5,572	7,651
H24特定財源の内訳		福岡県農地・水保全管理支払推進交付金：174千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	地域での共同作業により、農地・農業用水等の農業施設の良好な保全管理につながった。集落内で老朽化が進む農業用水路等の施設が更新され、長寿命化が図られた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

各集落の農地・水・環境保全活動の実施に関して支援を行う。県及び地域協議会への手続を適正に実施する。			
事業費	特定財源	一般財源	
7,670 千円	194 千円	7,476 千円	

事業名称

環境保全型農業推進事業

事業番号

34024

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

?	平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	?	終了見込みなし
---	----------	----	----	---	----	----	---	---------

関係法規・条例

環境保全型農業直接支援対策実施要綱(平成23年4月1日22生産第10953号農林水産事務次官依命)

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	有機農業等を志向する農業者
どのような 手段で	・カバークロップ作付や有機農業等、環境保全型農業に取り組む農業者に対して、交付金を交付する。・宗像市有機農業研究会が実施する食味会や現地検討会等の開催支援を行う。・市、JAむなかた、県普及指導センターで組織する竹パウダー利用促進会議において、農業利用の実証実験、PR活動を実施する。
どのような 状態に	・環境保全型農業直接支援対策(国庫補助)を活用することによって、化学肥料、農薬の使用低減による環境に配慮した農業が普及する。・宗像市有機農業研究会(有機農業を志向する任意組織)の情報交換、交流等の取り組みを支援し、活動を活性化させる。・荒廃竹林対策の一環として、伐採竹から製造した竹パウダーの農業利用を促進する。

職務名

環境保全型農業直接支援対策手続き業務	
「宗像市有機農業研究会」支援業務	
竹パウダー利用促進事業	

平成24年度実施計画

環境保全型農業直接支援対策の法手続きを行う。有機農業研究会に対して、適宜、指導・助言や視察研修、食味会等の開催支援を行う。竹パウダー実証実験を行って、効果のある利用方法を普及させる。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
環境保全型農業直接支援対策を実施した農業者に対して交付金を交付するとともに、JA等と共同で竹パウダーの農業利用を研究した。宗像市有機農業研究会に対し食味会開催などの活動支援を行った。	化学肥料、農薬の使用低減による環境に配慮した農業の普及につながった。有機農業を志向する農家の情報交換、研究の促進につながった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	取組農用地面積	環境保全型農業直接支援対策に取組んだ面積	ha		3.9	4.8	6.7

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円		158	269
特定財源	千円		79	134
一般財源	千円		79	135
H24特定財源の内訳		福岡県環境保全型農業直接支払交付金：134千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	平成24年度環境保全型農業直接支援対策を実施した農業者に対して交付金の交付事務を適切に行った。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

環境保全型農業直接支援対策の法手続きを行う。有機農業研究会に対して、適宜、指導・助言や視察研修、食味会等の開催支援を行う。竹パウダー実証実験を行って、効果のある利用方法を普及させる。			
事業費	特定財源	一般財源	
400 千円	200 千円	200 千円	

事業名称

事業番号

耕作放棄地対策事業

34025

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 20 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

耕作放棄地再生利用緊急対策実施要綱・要領・交付金交付要綱

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	耕作放棄地再生利用希望農業者、一般農業者、土地持ち非農業者
どのような 手段で	・宗像市耕作放棄地対策協議会の活動をとおして、耕作再開希望農家、地権者等への連絡調整、耕作再開のための国の交付金関係事務、耕作放棄地対策に係る施策の普及啓発を行う。 ・地区ごとの「耕作放棄地解消計画」を策定し、再生対策を実施する。
どのような 状態に	耕作放棄地が再生され、農作物の栽培が行われている。

職務名

耕作放棄地に関する調査・報告業務	
耕作再開希望農家、地権者等との連絡調整	
耕作再開のための国の交付金関係業務	
耕作放棄地対策に係る施策の普及啓発	
宗像市耕作放棄地対策協議会の事務局業務	

平成24年度実施計画

・宗像市耕作放棄地対策協議会と連携して、地区ごとの「再生利用実施計画」を策定し、計画に基づく解消対策を実施する。・耕作再開希望農家、地権者等との連絡調整を行う。・耕作再開のための国の交付金関係事務を行う。・耕作放棄地対策の普及啓発資料の配布等を行う。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
宗像市耕作放棄地対策協議会総会を開催、JAの組織改編に伴う規約の改正を行った。		H24年度は、再生利用希望者がなく、再生利用にはつながらなかった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	耕作放棄地再生利用面積		a	108	137	26	
活動	耕作放棄地情報公開の地権者同意取得	地権者同意を取得する人数	人				
成果	耕作放棄地の状況	全農地面積に対する耕作放棄地の割合	%				17

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			
特定財源	千円			
一般財源	千円			
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	遅れ	耕作放棄地の再生利用ができなかった。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

・宗像市耕作放棄地対策協議会と連携して、地区ごとの「再生利用実施計画」を策定し、計画に基づく解消対策を実施する。・耕作再開希望農家、地権者等との連絡調整を行う。・耕作再開のための国の交付金関係事務を行う。・耕作放棄地対策の普及啓発資料の配布等を行う。

事業費	千円	特定財源	千円	一般財源	千円	
-----	----	------	----	------	----	--

事業名称

事業番号

農用地利用促進事業

34028

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

事務区分

継続	自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)
----	------------------------------

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	---

関係法規・条例

農業経営基盤強化促進法、農業振興地域の整備に関する法律

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	農地の所有者、農地を借り受けて耕作する農業者
どのような 手段で	農地の土地所有者と耕作者からの農地の貸し借りの申し出に対し、農業経営基盤強化促進法に基づく手続きを実施する。また、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、農用地区域の設定・変更及び農業上の用途の指定・変更を適正に実施する。
どのような 状態に	農地の貸し借りが法に基づいて適正に実施され、かつ地域の担い手農家に集約化が図られるとともに、保全すべき農地を農振農用地として位置づけて次代に継承していくことを目指す。

職務名

利用権設定等促進事業 農用地利用計画の変更	

平成24年度実施計画

・農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定の手続きを適正に行なう。・農用地利用計画の変更に関する協議、法手続きを行う。
--

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
申出のあった農用地利用集積計画について、決定公告等の法手続きを行い、行政計画として1070筆の利用権を設定した。また、2件の農振農用地の除外申請を審査し、除外を実施した。		農地の貸し借りが法に基づいて適正に実施され、かつ地域の担い手農家への農地集約化が図られた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	利用権設定件数	利用権が設定された筆の数	筆	1045	986	800	1070
	農地利用計画変更申請数	法手続きの対象案件	件	4		5	2
	利用権設定面積	利用権が設定された筆の合計面積	ha	169.9	167.7		181.6

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	169	64	2,099
特定財源	千円			61
一般財源	千円	169	64	2,038
H24特定財源の内訳		揚水ポンプ電気代の地元負担金		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	農地の貸し借りが法に基づいて適正に実施され、かつ地域の担い手農家への農地集約化が図られた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

・農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定の手続きを適正に行なう。・農用地利用計画の変更に関する協議、法手続きを行う。			
事業費	特定財源	一般財源	
3,107 千円	100 千円	3,007 千円	

事業名称

イノシシ加工処理施設整備事業

事業番号

34030

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 23 年度 ～ 平成 24 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

食品衛生法、水質汚濁防止法

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	3市1町(宗像・福津・岡垣・宮若)に住所を有し且つ狩猟免許を保持している者、または各市町長から有害鳥獣駆除の従事者証の交付を受けている者。
どのような 手段で	関係法令を遵守したイノシシ加工処理施設を整備する(敷地面積1,381㎡、建物面積202㎡)。運営は、宗像市外2市1町ジビエ生産組合(構成市町の猟友会および駆除部会で組織)に委託する。
どのような 状態に	イノシシ加工処理施設が整備されることで更なるイノシシの捕獲が促進され、農業被害が減少する。

職務名

用地確保	
運営体系の調整確立	
建設に関する事務	
施設利用の促進	

平成24年度実施計画

イノシシ加工処理施設建設を完成させる。運営の具体的方法等供用開始に向け運営体系を確立させる。
--

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
H25.1にイノシシ加工処理施設建設完了し、H25.2よりジビエ生産組合へ運営委託し運営開始。	運営後2ヶ月で累計73頭のイノシシが捕獲搬入され、適切な処理が行われた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	事業進捗率		%			100	100

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円		10,740	86,306
特定財源	千円			55,109
一般財源	千円		10,740	31,197
H24特定財源の内訳		国県支出金30,688千円、各市町村建設負担金24,421千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	平成24年度中に建設完了し、運営開始できたため。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

事業費	千円	特定財源	千円
		一般財源	千円

事業名称

イノシシ加工処理施設運営事業

事業番号

34031

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 24 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

食品衛生法、福岡県野生鳥獣食肉衛生管理ガイドライン

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	3市1町(宗像・福津・岡垣・宮若)に住所を有し且つ狩猟免許を保持している者、または各市町長から有害鳥獣駆除の従事者証の交付を受けている者。
どのような 手段で	宗像市外2市1町ジビエ生産組合(構成市町の猟友会および駆除部会で組織)にイノシシ加工処理場の運営を委託する。また、円滑な施設運営・管理を図るための指導を行う。
どのような 状態に	本施設を利用し、捕獲したイノシシの処理を迅速且つ適切(衛生面)に行うことにより、更なるイノシシの捕獲が進み農作物被害が減少する。

職務名

イノシシ加工処理施設管理・運営業務	
協議会事務局業務	
施設の利用促進	

平成24年度実施計画

イノシシ加工処理場の円滑な運営のため指導、支援を行う

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につなりました）
H25.2よりジビエ生産組合へ運営委託し運営開始。適宜適切に管理運営できるよう指導を行った。対象者へ利用促進を行った。	運営後2ヶ月で累計73頭のイノシシが捕獲搬入され、適切な処理が行われた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	イノシシの搬入頭数		頭			75	73

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			530
特定財源	千円			307
一般財源	千円			223
H24特定財源の内訳		国県支出金161千円、各市町村負担金129千円、施設利用者負担金17千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	新たな取り組みではあったが、ジビエ生産組合および猟友会をはじめ関係各所と協議しながらスムーズな運営ができた。また搬入頭数についても、ほぼ当初計画の頭数の搬入実績があったため順調とした。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

イノシシ加工処理場の円滑な運営のため、指導支援を引き続き行う。また更なる周知活動を行い、利用を促しイノシシ被害を減らすべく捕獲頭数を増やす。イノシシ肉を活用した特産品開発事業、販路開発、販売を支援し、適宜指導を行う。			
事業費 8,584 千円	特定財源 5,530 千円	一般財源 3,054 千円	

事業名称

人・農地プラン関連事業

事業番号

34032

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 24 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

戸別所得補償経営安定推進事業実施要綱、新規就農・経営継承総合支援事業実施要綱
--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	認定農業者や新規就農者など集落の農業を中心となって担っていく農業者
どのような 手段で	①農業集落に対して、人・農地プランの作成を支援する。②農業経営が安定しない新規就農者に対して、青年就農給付金を給付して支援する。③集落の担い手への農地集積に協力していただく農業者等に対して、農地集積協力金を交付して支援する。
どのような 状態に	各集落において人・農地プランが作成され、プランが実行されることによって、今後の担い手に農地が集積されるとともに、農地が良好に保全される。

職務名

人・農地プラン作成支援業務	
青年就農給付金給付業務	
農地集積協力金交付業務	

平成24年度実施計画

人・農地プラン関連施策を農業者等に周知し、プランの作成を促進する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
人・農地プラン関連施策の広報紙掲載及び、農業委員会等で制度説明を行って農業者に周知するとともに、プランの作成を希望する集落に対して支援を実施した。		7集落で6つの人・農地プランを作成するとともに、担い手への農地の集積と新規就農者の経営を安定させることによって、農地を良好に保全することができた。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	人・農地プラン進捗状況	人・農地プランを作成した集落数	集落				7
成果	担い手への農地集積	人・農地プランに位置づけた中心経営体に集積できた農地面積	ha				6.5

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			18,625
特定財源	千円			18,625
一般財源	千円			
H24特定財源の内訳		青年就農給付金17,625千円、農地集積協力金1,000千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	やや遅れ	7集落で6つの人・農地プラン(案を含む)を作成したが、平成24年度からスタートした事業であり手探りの状況で進めたことなどから、作成同意済みの9集落のプランについてはまだ作成に至っていない。このため、地元集落と協議・調整を図りながら、速やかにプランの作成を進める必要がある。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

プランの作成を促進する。			
事業費 23,000 千円	特定財源 23,000 千円	一般財源 千円	

事業名称

事業番号

新規就農者研修事業

34033

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

新規

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 25 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	新規就農希望者
どのような 手段で	独自の農業研修を実施するとともに、地域定着と経営の安定化に向けた各種支援等を重点的に行う。
どのような 状態に	将来の農業の担い手(基幹的農業者)として、新規就農者が市内に定着すること。

職務名

新規就農研修事業事務	

平成24年度実施計画

第1期研修生募集事前研修

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につなかりました)
なし		募集及び事前研修(2次試験)については、平成25年度に行うこととした。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	受講者数		人				

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			
特定財源	千円			
一般財源	千円			
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	遅れ	関係機関等との協議により、平成24年度(2月頃)に予定していた研修生募集開始を平成25年度(4月)に変更したため。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

研修生募集開始(4月)、説明会開催(5月)、選考試験(1次及び2次)実施(6月)、研修開始(7月)			
事業費	730 千円	特定財源	千円
		一般財源	730 千円

事業名称

正助ふるさと村施設管理事業

事業番号

7006

所管コード 所管名

360401	産業振興部農業振興課振興係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

宗像市正助ふるさと村条例

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市民や市外からの観光客、農産物の消費者、農業者、地域住民
どのような 手段で	農を柱に地域に根ざした学び、体験、交流の場を提供することを目的に、花栽培事業、各種体験事業、市民農園事業、まつり事業、貸館事業などを円滑に実施できるように、施設・設備・備品などの維持管理を適切に実施するとともに、その運営を行う。
どのような 状態に	より多くの人に正助ふるさと村に訪れてもらい、農業や自然に対する理解を深めてもらうとともに、就農のきっかけづくりとなることを目指す。

職務名

正助ふるさと村の運営・施設管理業務 地元団体との調整業務	

平成24年度実施計画

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるように、施設の適切な維持管理を実施するとともに、より満足感を与えられるよう事業内容の改善に取り組む。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
菜の花、コスモス、藤など四季折々の花を咲かせながら、一年を通じて市民農園、農業体験事業を実施するとともに、春花まつり、秋のよくばり祭などのイベントを適時開催した。		様々な体験・学習の場を提供することによって、都市と農村の交流が図られ、地域の活性化につながった。また、来村者数も増加した。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	利用者数	正助ふるさと村来村者数	人	80640	98538	80000	100645
成果	利用者数	農業体験参加者数	人	7753	6534		7487
成果	利用者数	市民農園利用区画数	区画	183	161		177

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	51,562	52,181	56,418
特定財源	千円	882	945	904
一般財源	千円	50,680	51,236	55,514
H24特定財源の内訳		正助茶屋等の行政財産使用料		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	様々な体験・学習の場を提供することによって、都市と農村の交流が図られ、地域の活性化につながった。また、来村者数も増加した。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるように、施設の適切な維持管理を実施するとともに、より満足感を与えられるよう事業内容の改善に取り組む。6次産業化の拠点施設として、地域農産物等を活用した特産品開発、販路開拓等に取り組む。			
事業費 67,536 千円	特定財源 945 千円	一般財源 66,591 千円	

事業名称

事業番号

土地改良事業

34016

所管コード 所管名

360403	産業振興部農業振興課農業土木係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

土地改良法、宗像市土地改良事業費等分担金徴収条例

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	農業従事者が維持管理している農地及び農業用施設
どのような 手段で	老朽化もしくは損傷した農業用施設(道路・水路・井堰)に対し、改良工事や緊急的な修繕を行う。
どのような 状態に	老朽化した農業用施設(道路・水路・井堰)が改築され、従前の施設機能を回復することにより、利水機能の向上を図る。このことにより、施設の維持管理が軽減され、安全で安心な営農活動に貢献し、農地の保全につながる。また、農家戸数の減少や高齢化にもはどめをかける。

職務名

設計委託	
補修工事	
地元や関係機関との協議	
改築工事	
樽見樋門の管理	

平成24年度実施計画

起債事業にて、農業用施設(水路・井堰)など10箇所で行う。また、緊急時の修繕・補修対応を行っていく。
--

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
起債事業で施設の改良・改修工事を8箇所、市単独事業で部分的な修繕・補修工事を32箇所行った。		農業用施設(水路・井堰)の機能を回復し、利水機能の向上を図ることにより、施設の維持管理が軽減され、安全で安心な営農活動が継続できるようになった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	改修箇所	交付金・起債	箇所	5	12	10	8
活動	修繕箇所	市単独	箇所	19	56	20	32
成果	改修・修繕後のクレーム		箇所				

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	54,971	82,129	63,000
特定財源	千円	10,930	38,578	33,489
一般財源	千円	44,041	43,551	29,511
H24特定財源の内訳		地元分担金：4,671千円、地域活性化事業債：28,600千円、樽見川河口樋門管理費分担金及び負担金：218千円、		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	起債事業で計画的に行う農業用施設(水路・井堰)の改築は、事業費ベースで当初計画どおりに執行した。また、市単独事業で緊急性が伴う修繕や補修も計画以上に行った。このように、従前の施設機能を回復し、利水機能の向上を図ることにより、施設の維持管理が軽減され、安全で安心な営農活動に貢献できた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

起債事業にて、農業用施設(水路・井堰)など8箇所で行う。また、緊急時の修繕・補修対応を行っていく。			
事業費 62,362 千円	特定財源 32,475 千円	一般財源 29,887 千円	

事業名称

事業番号

ため池等整備事業

34017

所管コード 所管名

360403	産業振興部農業振興課農業土木係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

土地改良法、宗像市土地改良事業分担金徴収条例、宗像市ため池の保全に関する条例
--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	農業従事者が維持管理しているため池
どのような 手段で	市内252箇所のため池の内、老朽化もしくは施設の損傷に対し、県や市が事業主体となり国・県の補助事業や起債事業を活用し改築工事を行う。また、市単独で緊急的な修繕を行う。
どのような 状態に	農業経営の根幹を担う老朽化したため池が改築され、従前の機能を回復することにより、ため池の持っている治水・利水機能の維持を図る。このことにより、施設の維持管理が軽減され、安全で安心な営農活動が継続できるとともに、防災にも寄与する。

職務名

設計委託	
補修工事	
地元や関係機関との協議	
改築工事	
事業の法的手続き	

平成24年度実施計画

市施工において、起債事業でため池の部分的整備を行う。また、緊急時の補修対応も随時行っていく。県施工においては、8箇所の整備を行う。また、この県営整備に係る地権者の窓口や法的な手続きは市において行う。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
市施工において、起債事業で部分的な改修工事を4箇所、単独事業で部分的な修繕・補修工事を13箇所行った。また、県施工において、8箇所の事業進捗を図っている。		ため池の機能を回復し、治水・利水機能の向上を図ることにより、施設の維持管理が軽減され、安全で安心な営農活動が継続できるようになった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	改修、修繕箇所		箇所	22	11	14	25
成果	改修、修繕後のクレーム		箇所				

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	98,229	107,669	118,063
特定財源	千円	74,521	42,839	20,653
一般財源	千円	23,708	64,830	97,410
H24特定財源の内訳		地元分担金：958千円、地域活性化事業費：16,395千円、公共事業費：3,300千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	市施工において、起債事業で行う改修工事及び単独事業で行う緊急性を伴う修繕や補修工事は、当初計画以上に執行した。また、県施工において、計画どおりの事業進捗となった。このように、従前の機能を回復し、治水・利水機能の向上を図ることにより、施設の維持管理が軽減され、安全で安心な営農活動に貢献できた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

市施工において、起債事業でため池の部分的整備を行う。また、緊急時の補修対応も随時行っていく。県施工においては、9箇所の整備を行う。また、この県営整備に係る地権者の窓口や法的な手続きは市において行う。			
事業費	特定財源	一般財源	
98,666 千円	15,000 千円	83,666 千円	

事業名称

事業番号

現年農林災害復旧事業

34018

所管コード 所管名

360403	産業振興部農業振興課農業土木係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

■ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	■ 終了見込みなし
------------	----	----	---	----	----	-----------

関係法規・条例

農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律、宗像市土地改良事業等分担金

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	農業従事者が維持管理をしている農地及び農業用施設
どのような 手段で	被災した農地・農業用施設に対し、国の補助に採択されたものは国庫補助事業で復旧工事を実施し、採択要件に合わないものは市単独事業で復旧工事を実施する。
どのような 状態に	農業経営の根幹となる農地・農業用施設の被災箇所が、従前の施設(道路、水路、ため池、井堰、農地)機能を回復することにより、農地の保全を図り、営農への支障を最低限に抑え、農家が安心して営農活動を継続できるようにする。

職務名

設計委託業務	
地元や関係機関との協議	
復旧工事	

平成24年度実施計画

現地測量および復旧工事

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
市単独事業で1箇所の復旧工事を行った。	農道の機能を回復することにより、農家が安心して営農活動を継続できるようになった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	復旧箇所数		箇所	71	2	3	1
成果	復旧後のクレーム		箇所				

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	50,869	786	219
特定財源	千円	18,309	72	19
一般財源	千円	32,560	714	200
H24特定財源の内訳		地元分担金：19千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	早急に施設の機能を回復することにより、営農活動の継続に寄与することができた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

現地測量および復旧工事			
事業費	特定財源	一般財源	
2,000 千円	130 千円	1,870 千円	

事業名称

大井ダム用途変更事業

事業番号

34027

所管コード 所管名

360403	産業振興部農業振興課農業土木係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 21 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

河川法、

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	宗像市が維持管理している大井貯水池
どのような 手段で	大井浄水場の廃止に伴い、大井ダムの水道事業としての取水水利権が消滅することから、農業用水の水利権を取得し大井ダムの活用を図る。
どのような 状態に	大井貯水池が、大井地区の灌漑用水としての利水機能を備えることにより、水利の維持管理が軽減され、安全で安心な営農活動に貢献し、農地の保全につながる。

職務名

各種委託業務	
維持管理業務	
改築工事	
地元や関係機関との協議	

平成24年度実施計画

河川法第23条、第26条許可に基づき、稲刈後に大井貯水池の洪水吐切下工事を行い、貯水量62万トンにする。
--

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
大井貯水池の洪水吐切下工事を行い、貯水量62万トンにした。また、耐震診断の調査を行った。		河川法に基づいた大井貯水池が再構築され、大井地区の灌漑用水としての利水機能を備えることとなり、水利の維持管理が軽減され、安全で安心な営農活動ができるようになった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	灌漑用水の不足日		日				

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	1,985	10,282	33,963
特定財源	千円			23,000
一般財源	千円	1,985	10,282	10,963
H24特定財源の内訳		合併特例事業債：23,000千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	大変順調	大井貯水池の洪水吐切下工事は、当初計画どおり執行した。また、次年度に計画していた耐震診断の調査を行った。このように、大井地区の灌漑用水としての利水機能を備えることにより、水利の維持管理が軽減され、安全で安心な営農活動に貢献できた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

大井貯水池において、河川法などに添った適正な維持管理をして行く。			
事業費 6,543 千円	特定財源 千円	一般財源 6,543 千円	

事業名称

事業番号

大井貯水池老朽化対策事業

34027

所管コード 所管名

360403	産業振興部農業振興課農業土木係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 21 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

河川法、

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	宗像市が維持管理している大井貯水池
どのような 手段で	大井貯水池は、昭和40年代前半の高度成長期に築造され、完成より43年を経過している。このため、経年変化により機能が低下している一部施設の改修を行う。
どのような 状態に	大井貯水池の一部重要構造物の改修を行い、施設の安定性や安全性の向上を図り、下流域の灌漑用水としての利水機能を強化する。このことにより、水利の維持管理が軽減され、安全で安心な営農活動に貢献し、農地の保全につながる。併せて、下流周辺の人命・財産やライフラインへの影響が軽減されるものと考えている。

職務名

各種委託業務	
維持管理業務	
改築工事	
地元や関係機関との協議	

平成24年度実施計画

河川法第23条、第26条許可に基づき、稲刈後に大井貯水池の洪水吐切下工事を行い、貯水量62万トンにする。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
大井貯水池の洪水吐切下工事を行い、貯水量62万トンにした。また、重要構造物の診断調査を行った。		河川法に基づいた大井貯水池が再構築され、大井地区の灌漑用水としての利水機能を備えることとなり、水利の維持管理が軽減され、安全で安心な営農活動ができるようになった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	工事進捗率		%			10	10

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	1,985	10,282	33,963
特定財源	千円			23,000
一般財源	千円	1,985	10,282	10,963
H24特定財源の内訳		合併特例事業債：23,000千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	大井貯水池の洪水吐切下工事は、当初計画どおり執行した。また、次年度に計画していた重要構造物の診断調査を行った。このような形で本年より、下流域の灌漑用水としての利水機能を備えることができ、水利の維持管理が軽減され、安全で安心な営農活動に貢献できた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

大井貯水池において、河川法などに添った適正な維持管理をして行く。

事業費	特定財源	一般財源	
6,543 千円	千円	6,543 千円	

事業名称

農業者年金事務

事業番号

50001

所管コード 所管名

460101	農業委員会事務局農地係
--------	-------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	---

関係法規・条例

独立行政法人農業者年金基金法

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	加入資格、若しくは受給資格のある各個人
どのような 手段で	農業委員とJA職員による年金加入促進のため勧誘活動を行う。年金受給者のための各種手続き及び死亡等受給権の失権処理をする。
どのような 状態に	農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図る。

職務名

農業者年金事務	

平成24年度実施計画

農業者の老後の生活安定のために必要な年金制度であることのPRを積極的に行う。加入率の低い女性農業者への積極的な働きかけを行う。
--

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
農業委員活動等を通し、加入促進を図る。		農業者の老後の生活安定に寄与できている。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	新規加入者数		人	3	1	2	
	稲作説明会等での加入PR		回	—	2	2	2

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	401	365	333
特定財源	千円	401	365	333
一般財源	千円			
H24特定財源の内訳		農業者年金基金からの農業者年金業務委託手数料		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	やや遅れ	対象者が特定されることから、担い手対策と一体的に取り組む必要がある。若者の農業離れが進むなかでの新規加入は、厳しい実状がある。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

農業者の老後の生活安定のために必要な年金制度であることのPRを積極的に行う。加入率の低い女性農業者への積極的な働きかけを行う。			
事業費	313 千円	特定財源	313 千円
		一般財源	千円

事業名称

農業委員会事務

事業番号

50002

所管コード 所管名

460101	農業委員会事務局農地係
--------	-------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	---

関係法規・条例

農業委員会等に関する法律、農地法等

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
2 節	農業の振興

将来像	農業者が生き生きと働いて、新鮮で安全な農産物を供給しています
-----	--------------------------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	農家、市民、市等
どのような 手段で	申請者に対して、法令に基づき適正な農地転用や権利移動を行う。担い手農家や認定農業者に対し、農地の規模拡大のため利用集積を行う。農地所有者及び耕作者に対し、訪問等を行い、農地の有効利用のため遊休農地解消の指導を行う。
どのような 状態に	農業者の公的代表機関として、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を進め、農民の生活の向上を図る。

職務名

農地転用・権利移動	
農業委員研修	
諸証明発行業務	
農地パトロール	
農地台帳システム管理	
農用地利用集積事業	

平成24年度実施計画

利用状況調査の実施により農地基本台帳を整備する。また、むなかた地域農業活性化機構との連携強化を図り農地の利用集積を一層進めるなどの有効活用を図る。農業に関する問題や課題等を把握して農業政策に反映していくよう努める。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
農地利用状況調査を実施、農地管理の実態把握に努めた。研修会、視察、意見交換会を開催、課題や要望の把握に努めた。		調査データを農地基本台帳に入力、整備した。遊休農地所有者に対し、自宅訪問等を行い、一部解消できた。委員の資質向上及び農政活動の前進に繋がった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	遊休農地の解消	耕作地になった面積	ha		0.4	1	1.9
成果	利用集積率	全農地に対する契約農地面積	%	33	32	32	31

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	13,143	21,901	16,765
特定財源	千円	3,261	9,693	3,156
一般財源	千円	9,882	12,208	13,609
H24特定財源の内訳		農業委員会交付金 3,156		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	やや遅れ	法令に基づく必須業務であり、H21農地法改正により毎年1回の農地利用状況調査が付加された。個々の農地の状況確認や把握に困難な部分が多くあった。国策の影響が大きく、かつ、短期で成果を求める事業でない。委員の資質向上や活動については、委員としての専門的立場で行った。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

利用状況調査の実施により農地基本台帳を整備する。また、むなかた地域農業活性化機構との連携強化を図り農地の利用集積を一層進めるなどの有効活用を図る。農業に関する問題や課題等を把握して農業政策に反映していくよう努める。			
事業費 17,066 千円	特定財源 2,812 千円	一般財源 14,254 千円	

事業名称

漁港管理事業

事業番号

35001

所管コード 所管名

360501	産業振興部水産振興課水産振興係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令により事務処理が義務付けられるもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	---

関係法規・条例

宗像市漁港管理条例

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
3 節	水産業の振興

将来像	漁業・漁村が活力あるまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	漁業者、漁港
どのような 手段で	市内の漁港管理については、宗像漁業協同組合および鐘崎漁業協同組合とそれぞれ漁港管理業務委託契約を結び、適切な漁港管理を実施する。
どのような 状態に	漁業活動を安全におこなうことができる良好な漁港になる。

職務名

漁港管理業務	

平成24年度実施計画

○鐘崎漁港維持管理業務委託(鐘崎漁協)○神湊漁港維持管理業務委託(宗像漁協)○地島漁港維持管理業務委託(宗像漁協)○鐘崎漁港広場管理業務委託(岬地区コミュニティ)

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
鐘崎漁港、神湊漁港、地島漁港をそれぞれ所管の漁協と管理委託業務を締結し、漁港の管理をおこなった。また、鐘崎漁港広場の管理を岬地区コミュニティに委託し、広場の管理をおこなった。		港内の清掃をはじめとする維持管理をおこない、安全で良好な漁港を維持することができた。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	年間管理コスト		千円	27410	27585	26513	26364

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	27,718	27,585	26,364
特定財源	千円	27,470	27,585	26,192
一般財源	千円	248		172
H24特定財源の内訳		占用料=379,530、駐車場収入=25,813,240		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	特段問題なく漁港を良好な状態に保つことができています。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

○鐘崎漁港維持管理業務委託(鐘崎漁協)○神湊漁港維持管理業務委託(宗像漁協)○地島漁港維持管理業務委託(宗像漁協)○鐘崎漁港広場管理業務委託(岬地区コミュニティ)			
事業費	特定財源	一般財源	
26,513 千円	24,000 千円	2,513 千円	

事業名称

事業番号

水産物消費拡大・魚食普及推進事業

35002

所管コード 所管名

360501	産業振興部水産振興課水産振興係
--------	-----------------

新規／継続

事務区分

継続	自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)
----	--------------------------

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	---

関係法規・条例

宗像市水産業振興対策事業費補助金交付要綱

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
3 節	水産業の振興

将来像	漁業・漁村が活力あるまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市民、市外観光客、漁業者、市内外飲食店
どのような 手段で	水産物消費拡大企画委員会(事務局は宗像観光協会)を設け、各種イベント事業・広告宣伝事業・魚食普及食育事業・ツーリズム事業など、年間を通じて市の水産物消費拡大を推進する事業に対して補助をおこなう。
どのような 状態に	市民観光客に対しては、安全で安心な美味しい水産物を宣伝・提供し、市内外の飲食店に対しては、水産物の特産品PRを通じて売り上げの拡大を図り、漁業者に対しては魚価の引き上げや販売増を通じて漁家所得の向上を図る。

職務名

流通販売推進、ブランド力強化業務	
イベント推進,特産品開発業務	
魚食普及推進業務	
学校給食地元産水産物普及推進業務	

平成24年度実施計画

○小中学校給食での食育、宗像産水産物の消費拡大○食進会と連携した、魚食普及料理教室の開催○漁師まつり、生き生き祭など漁港イベントの開催○宗像産水産物消費拡大のための広告宣伝とイベントの開催○宗像産水産物を使った新商品の開発

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
○学校給食での食材活用PR○魚食普及料理教室の開催○漁港イベントの開催○消費拡大PRイベントの開催○新商品開発		○市内小中学校の7つの学校で食材提供の契約を結ぶことができた ○30回教室にのべ1010人の参加があった ○イベントに15千人の集客があった ○うにを使った煎餅を開発した

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	魚食料理教室開催回数	開催回数	回	23	31	20	30

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	3,400	4,600	4,000
特定財源	千円			
一般財源	千円	3,400	4,600	4,000
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	学校給食では納入契約を7つ学校で結ぶことができ、売り上げの増加に繋がった。料理教室では多くの参加者に関心を持ってもらった。ふくフェアを開催し、前年度を大幅に上回るフグの出荷量を達成した。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

○小中学校給食での食育、宗像産水産物の消費拡大○食進会と連携した、魚食普及料理教室の開催○漁師まつり、生き生き祭など漁港イベントの開催○宗像産水産物消費拡大のための広告宣伝とイベントの開催○宗像産水産物を使った新商品の開発○地引網を活用したツーリズム事業の実施			
事業費	特定財源	一般財源	
4,000 千円	千円	4,000 千円	

事業名称

事業番号

水産資源活用事業

35003

所管コード 所管名

360501	産業振興部水産振興課水産振興係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	---

関係法規・条例

宗像市水産業振興対策事業費補助金交付要綱

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
3 節	水産業の振興

将来像	漁業・漁村が活力あるまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	漁業者
どのような 手段で	鐘崎漁協および宗像漁協がおこなうアワビの中間育成・種苗放流、トラフグの稚魚放流による資源回復事業に対して補助金を交付する。
どのような 状態に	漁獲量の減少や資源の枯渇を防ぎ、漁獲量とのバランスを見ながら資源回復を図ることで、漁船漁業の継続性が確保される。

職務名

アワビ中間育成事業補助業務	
アワビ種苗放流事業補助業務	
トラフグ資源回復計画促進事業補助業務	
環境・生態系保全活動支援事業補助業務	

平成24年度実施計画

○種苗放流支援事業 ・アワビ20万個	4,100千円	・トラフグ25万尾	2,000千円○
環境・生態系保全活動支援事業 ・宗像地区磯根保全協議会	1,500千円		

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）	⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
アワビ稚貝放流 21万1千個 トラフグ種苗放流 29万3千尾 環境・生態系保全活動 145万9千円		放流により一定の漁獲量を確保することができた。また、資源回復に繋がった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	トラフグ漁獲高	年／トン	トン	58	54	58	53
成果	アワビ漁獲高	年／トン	トン	11	9	11	10

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	6,889	7,502	7,559
特定財源	千円			
一般財源	千円	6,889	7,502	7,559
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	アワビ、トラフグの漁獲量は平年並みの水準を確保することができた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

○種苗放流支援事業 ・アワビ20万個	4,100千円	・トラフグ36万尾	2,000千円○
環境・生態系保全活動支援事業 ・宗像地区磯根保全協議会	1,500千円		
事業費	7,600 千円	特定財源	千円
		一般財源	7,600 千円

事業名称

漁業生産基盤整備事業

事業番号

35004

所管コード 所管名

360501	産業振興部水産振興課水産振興係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	---

関係法規・条例

宗像市水産業振興対策事業費補助金交付要綱

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
3 節	水産業の振興

将来像	漁業・漁村が活力あるまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	漁業者
どのような 手段で	鐘崎漁協、宗像漁協がおこなう、漁港の老朽化した施設の改修や水産施設の新規整備、また、担い手育成事業の実施を希望する沿岸漁業者経営改善促進グループなどに対し、その事業費の一部を補助する。
どのような 状態に	漁業者の活動が円滑におこなえるよう支援し、水産業の振興を促進することにより、漁家所得の維持向上を図る。

職務名

上架施設改修事業補助業務	
漁船保全修理施設改修補助業務	
鐘崎加工場改修事業補助業務	
アワビ中間育成施設改修補助事業	
電算システム改修事業補助業務	
漁協合併関連事業費補助業務	

平成24年度実施計画

○漁船保全修理施設改修 ○共同作業場改修	○アワビ中間育成施設改修	○冷凍機改修	○鐘崎加工場改修
-------------------------	--------------	--------	----------

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
○漁船保全修理施設改修 共同作業場改修	○冷凍機設置○ ○漁具倉庫改修	上架施設が安全に使用できるようになった。貯氷庫の氷の歩留りが高くなった。ワカメの乾燥機が使用できるようになった。漁具が安全に保管できるようになった。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
	整備率	実施箇所数/整備予定箇所数	%	100	100	100	100

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	14,860	20,857	10,872
特定財源	千円			
一般財源	千円	14,860	20,857	10,872
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	漁協合併の協議にともない先送りになった事業があったり、県南部における水害により本市が当初要望していた予算から削減されたものの、早期改修が必要な事業は予定通りに実施することができた。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

○上架施設補修 ○漁船保全修理施設改修 ○アワビ中間育成施設改修 ○冷凍機改修 ○活魚車整備 ○鐘崎加工場改修 ○漁具保管倉庫整備 ◎漁協合併関連事業費補助業務 ○海上蓄養等水産物付加価値向上対策事業			
事業費 40,399 千円	特定財源 千円	一般財源 40,399 千円	

事業名称

漁港維持管理事業

事業番号

35005

所管コード 所管名

360502	産業振興部水産振興課漁港整備係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	---

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
3 節	水産業の振興

将来像	漁業・漁村が活力あるまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	漁港施設利用者。
どのような 手段で	・市管理施設である鐘崎、神湊、地島漁港の漁港施設(防波堤、岸壁、物揚場、護岸、船揚場、漁港施設用地、臨港道路等)の維持補修費及び、親水公園等の光熱水費。 県事業(大島漁港)への負担金を実施。
どのような 状態に	市管理の漁港施設が、安全で安心して使用出来る事を目指す。

職務名

漁港維持管理業務	

平成24年度実施計画

・市管理である鐘崎、神湊、地島漁港の漁港施設の維持管理を行う。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
鐘崎漁港維持工事 5件 神湊漁港維持工事 3件 地島漁港維持工事 1件	市管理の漁港施設が、安全で安心して使用出来る状態を提供出来た。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	事故発生件数	維持不備に起因するもの	件				

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	9,655	11,599	23,847
特定財源	千円	2,425	2,182	1,106
一般財源	千円	7,230	9,417	22,741
H24特定財源の内訳		漁港維持管理工事負担金 1,106千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	やや遅れ	各漁港、タイムリーな対応が十分とは言えない。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

・市管理である鐘崎、神湊、地島漁港の漁港施設の維持管理を行う。			
事業費	特定財源	一般財源	
10,000 千円	569 千円	9,431 千円	

事業名称

漁港整備事業

事業番号

35006

所管コード 所管名

360502	産業振興部水産振興課漁港整備係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☒ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	33	年度	☐ 終了見込みなし
--	----	----	---	----	----	----	----------------------------------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
3 節	水産業の振興

将来像	漁業・漁村が活力あるまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	漁港施設利用者。
どのような 手段で	漁港整備計画に基づき、鐘崎漁港、神湊漁港、地島漁港の安全で安定的な漁業操業支援のための施設整備を行う。特に鐘崎漁港については、衛生管理対応可能な陸揚げ拠点機能を備えた施設整備を目指す。また、ストックマネジメント事業を実施し各漁港施設の長寿命化を目指す。
どのような 状態に	各漁港整備計画に基づいた施設整備の完了を目指すと共に、施設の長寿命化を目指す。市管理漁港施設が安全で安心して使用出来る事を目指す。

職務名

鐘崎漁港整備業務	
神湊漁港整備業務	
地島漁港整備業務	
漁港整備業務	
漁港整備業務(ストックマネジメント)	

平成24年度実施計画

・鐘崎漁港の施設整備を実施する。・地島漁港の施設整備を実施する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
鐘崎漁港整備工事 7件神湊漁港整備工事 3件 地島漁港整備工事 1件業務委託 4件	市管理の漁港施設が、安全で安心して使用出来る状態を提供出来た。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	整備進捗率	累計実施額／全体事業費	%	84	90	91	

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	297,578	452,223	228,214
特定財源	千円	265,063	423,476	198,201
一般財源	千円	32,515	28,747	30,013
H24特定財源の内訳		国補助金 101,150千円、県補助金 37,751千円負担金 6,246千円、土木債 43,900千円、繰越金 9,154千円		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	鐘崎漁港整備において次年度への繰越はあるものの、平成24年度実施計画を実施出来た。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

・鐘崎漁港の施設整備を実施する。・神湊漁港の岸壁補修(ストックマネジメント)を実施する。・神湊漁港新港側駐車場整備を実施する。・駐車場、プレジャーボート係留施設の防犯施設整備を実施する。			
事業費 258,851 千円	特定財源 217,850 千円	一般財源 41,001 千円	

事業名称

事業番号

漁場整備事業

35011

所管コード 所管名

360502	産業振興部水産振興課漁港整備係
--------	-----------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 24 年度 ～ 平成 26 年度	☐ 終了見込みなし
-----------------------------------	---------------------	----------------------------------

関係法規・条例

なし

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
3 節	水産業の振興

将来像	漁業・漁村が活力あるまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	漁協(漁民)及び、水産物消費者に対して。
どのような 手段で	水産資源を維持するため、漁協要望等に基づき、漁場を整備する。
どのような 状態に	水産資源の維持、回復につなげる事を目指す。

職務名

漁場整備業務	
モニタリング業務	

平成24年度実施計画

漁場再生

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
海底清掃工事 1件、漁場（藻場）再生工事 1件 （鐘崎漁港沿岸部）	鐘崎漁港沿岸部の漁場（藻場）再生につながった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	漁場（藻場）整備面積		m ²				1750

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			9,832
特定財源	千円			
一般財源	千円			9,832
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	平成24年度の実施計画を実施出来た。平成25年度からはモニタリングを実施しながら効果的・効率的な事業の展開を図っていく。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

漁場再生、モニタリング			
事業費 20,000 千円	特定財源 千円	一般財源 20,000 千円	

事業名称

労働行政推進事業

事業番号

21008

所管コード 所管名

340101	健康福祉部保健福祉政策課保健福祉政策係
--------	---------------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	----	----	---	----	----	---

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
4 節	商工業の振興

将来像	地域の商工業が元気なまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市民をはじめとする求職者
どのような 手段で	宗像市地域職業相談室による職業紹介や就職相談業務、国・県との連携によるセミナー、 情報提供など就職関連業務を行う。
どのような 状態に	情報提供、相談の機会を提供し、求職活動を支援する。

職務名

労働行政推進業務	

平成24年度実施計画

地域職業相談室や関係事業利用者への相談、情報の提供

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
国と連携し、地域職業相談室で相談、情報の提供などを行った。	地域職業相談室を利用して1174人の就職につながった。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	宗像市地域職業相談室の利用者数		人	35352	35067	24000	33907
成果	上記のうち就職者数		人	1247	1189	500	1174

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円			
特定財源	千円			
一般財源	千円			
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	就職者数は1000人を超えている。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

地域職業相談室や関係事業利用者への相談、情報の提供			
事業費	特定財源	一般財源	
120 千円	千円	120 千円	

事業名称

事業番号

企業誘致事業

11002

所管コード 所管名

360101	産業振興部商工観光課商工係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☒ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☐ 終了見込みなし
--	----	----	---	----	----	----------------------------------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
4 節	商工業の振興

将来像	地域の商工業が元気なまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市内の製造業又は産業支援サービス業に分類される企業等
どのような 手段で	企業を誘致して、市民の雇用の場の拡大と法人市民税や固定資産税などの税収の増加を目指す。
どのような 状態に	企業誘致によって、市内に就労の機会を確保し、税収増・人口増を図る。

職務名

企業誘致	

平成24年度実施計画

雇用吸収力のある製造業やIT系企業を主要なターゲットとして市、市土地開発公社、民間の用地(遊休地)に企業誘致を目指す。一方で、メガソーラーや環境エネルギー分野等の有望産業に絞り込んだ誘致や非正規雇用を含めて多くの就労の機会を提供している小売業、サービス業、医療・介護・福祉系事業等の誘致にも取り組む。そのために企業動向の把握、用地(遊休地)、補助金・奨励措置、まちの魅力等の情報発信に努める。企業誘致検討会議で、第2次宗像市総合計画基本構想の策定に合わせて、企業誘致のあり方等を調査・検討する。

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
リサーチパークでの分譲地1号地について購入の働きかけを行い、確約が取れました。		リサーチパークの空き地が解消され、機能充実につながりました。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	企業誘致件数	立地確約もしくは契約成立件数	件	1	1	1	1

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	867	301	761
特定財源	千円			
一般財源	千円	867	301	761
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	計画通りの成果を達成しているため
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

雇用吸収力のある製造業やIT系企業を主要なターゲットとして市、市土地開発公社、民間の用地(遊休地)に企業誘致を目指す。一方で、メガソーラーや環境エネルギー分野等の有望産業に絞り込んだ誘致や非正規雇用を含めて多くの就労の機会を提供している小売業、サービス業、医療・介護・福祉系事業等の誘致にも取り組む。そのために企業動向の把握、用地(遊休地)、補助金・奨励措置、まちの魅力等の情報発信に努める。企業誘致検討会議で、第2次宗像市総合計画基本構想の策定に合わせて、企業誘致のあり方等を調査・検討する。			
事業費	667 千円	特定財源	千円
		一般財源	667 千円

事業名称

事業番号

誘致企業等支援事業

11004

所管コード 所管名

360101	産業振興部商工観光課商工係
--------	---------------

新規／継続

事務区分

継続	自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)
----	--------------------------

事業期間

☒ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☐ 終了見込みなし
--	----	----	---	----	----	----------------------------------

関係法規・条例

宗像市企業立地促進補助金交付要綱

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
4 節	商工業の振興

将来像	地域の商工業が元気なまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市内の製造業又は産業支援サービス業に分類される企業等
どのような 手段で	企業誘致に係る奨励措置や補助金申請手続き等を支援する。誘致企業、団体の業務拡大や活性化のための支援と調整を行う。
どのような 状態に	誘致企業に対する補助金交付と優遇措置による企業活動の活性化アスティ21の誘致企業・大学間の交流活動と環境保全の推進を通じた企業活動の活性化小規模起業家(SOHO)や起業を目指す人の事業活動の活性化

職務名

誘致企業等支援	

平成24年度実施計画

リサーチパーク協議会の自主運営化を図りながら、各部会・各事業への参加と支援を行う。誘致企業への補助金等適用事務を実施するほか、国県等のプロジェクトへの繋ぎや協働提案などの誘致企業への支援を行う。「環境対応車(小型EV)」大島への導入の検討 小規模起業者(SOHO)や起業を目指す人を支援。

平成24年度の成果

活動内容(担当課の取り組み内容)	⇒⇒⇒	成果内容(対象の変化。●●につながりました)
リサーチパーク協議会の取り組み(交流事業やアスティ祭)に運営から参加した。大島での小型EV導入実験事業に国の補助決定を受けた。		リサーチパーク立地の企業等が交流を図ることで一体感の醸成につながりました。

活動指標/成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	誘致企業交付金等事務	交付企業等数	件	2	3	1	3
成果	交流会部会事業	参加者数	人		500	500	140
成果	アスティ祭実行委員会事業	参加者数	人	2000	3000	3000	3000

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	6,092	9,192	8,932
特定財源	千円	5,400	8,632	8,289
一般財源	千円	692	560	643
H24特定財源の内訳		企業立地促進基金		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	リサーチパーク協議会の取り組みについては、毎年度の企画内容により変動するので、参加者数が減っているが企業間の交流目的は達成している。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

リサーチパーク協議会の自主運営化を図りながら、各部会・各事業への参加と支援を行う。誘致企業への補助金等適用事務を実施するほか、国県等のプロジェクトへの繋ぎや協働提案などの誘致企業への支援を行う。小規模起業者(SOHO)や起業を目指す人を支援。			
事業費	5,900 千円	特定財源	5,000 千円
		一般財源	900 千円

事業名称

事業番号

商工会支援事業

32001

所管コード 所管名

360101	産業振興部商工観光課商工係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☒ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☐ 終了見込みなし
--	----	----	---	----	----	----------------------------------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
4 節	商工業の振興

将来像	地域の商工業が元気なまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	宗像市商工会
どのような 手段で	商工会の地域の商工事業者の活動を振興する地域総合振興事業費に主に補助金を交付する。
どのような 状態に	商工会活動が活発になり、市内商工業が活性化すること。

職務名

商工会支援業務	
商工会との連絡、調整業務	

平成24年度実施計画

商工会を支援するため、商工会との連携、調整業務を行う。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
商工会の地域産業振興事業について、助言・支援をしました。	市と商工会の方向性を調整でき、効率的な取り組みにつながりました。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	商工会への助言事業	市の助言により行われた事業数	個	1	1	1	1

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	16,433	15,678	15,678
特定財源	千円			
一般財源	千円	16,433	15,678	15,678
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	市商工会と協議を重ね、商工会活動を支援した。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

商工会を支援するため、商工会との連携、調整業務を行う。			
事業費	特定財源	一般財源	
15,678 千円	千円	15,678 千円	

事業名称

中小企業融資助成事業

事業番号

32002

所管コード 所管名

360101	産業振興部商工観光課商工係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☒ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☐ 終了見込みなし
--	----	----	---	----	----	----------------------------------

関係法規・条例

宗像市中小企業小口事業資金融資規則、宗像市中小企業小口事業資金保証料補助金交付要綱、
--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
4 節	商工業の振興

将来像	地域の商工業が元気なまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市内中小企業者
どのような 手段で	保証協会の制度融資の利率が、市内金融機関に対し預託金を積むことにより県制度に比べ0.1%優遇されるようにするとともに、保証協会への保証料相当額を融資を受ける商工業者へ直接補助することによって、金融機関からの借り入れに係る経費負担を軽減する。新規創業のために日本政策金融公庫国民生活事業の融資(2,000万円以内)を受けた者に利子補給を行う。
どのような 状態に	市内中小事業者がスムーズな資金繰りが可能になっていること。

職務名

中小企業融資事業(小口事業資金保証料補助金)事務	
起業化支援利子補給補助金事務	

平成24年度実施計画

市内の中小企業者が必要とする事業資金を低利で融資するとともに、県保証協会の保証料を補助することで経営の安定化と活性化を図る。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
市内中小企業の経営について、資金助成制度を活用してもらう。主に保証料補助金135名17,188千円を補助しました。	市内中小企業の経営安定化につながりました

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	保証料補助金額	県保証協会保証料補助金額	千円	19034	23433	22000	17188

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	170,036	173,433	197,859
特定財源	千円	150,000	150,000	180,000
一般財源	千円	20,036	23,433	17,859
H24特定財源の内訳		中小企業融資預託金元利収入		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	事業資金のほとんどが運転資金であるため、融資額が減少しているのは景気を持ち直し感を表すものである。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

市内の中小企業者が必要とする事業資金を低利で融資するとともに、県保証協会の保証料を補助することで経営の安定化と活性化を図る。

事業費 203,050 千円	特定財源 180,000 千円	一般財源 23,050 千円	
-------------------	--------------------	-------------------	--

事業名称

商工振興一般事業

事業番号

32004

所管コード 所管名

360101	産業振興部商工観光課商工係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☒ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☐ 終了見込みなし
--	----	----	---	----	----	----------------------------------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
4 節	商工業の振興

将来像	地域の商工業が元気なまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	市内の中小企業者
どのような 手段で	市内の中小企業者の経営改善と活性化を図るために、県や商工会等と連携して商工行政を振興する。
どのような 状態に	市内商工業が活性化していること

職務名

商工行政の推進に関する業務	
計量検定に関する事務	

平成24年度実施計画

商工業者をはじめ市商工会や関係機関等と連携して、商工業の活性化につながる事業の支援を行う。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
法令による計量機定期検査事務を行い、327名610台が受験しました。商工会と連携しながら、特産品認定委員会を4回開催して新規4個、更新40個を認定しました。	定期検査をすることで、適正な取引証明につながりました。特産品としての一次製品、加工品、工芸品などがあり、それぞれに認定基準がないと対応できない課題が出てきました。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	特産品認定の品数	特産品(季良里)の新規認定数	個	2	1	1	4

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	583	237	1,751
特定財源	千円	22	13	15
一般財源	千円	561	224	1,736
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	計画通りの成果を達成しているため
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

商工業者をはじめ市商工会や関係機関等と連携して、商工業の活性化につながる事業の支援を行う。

事業費 2,611 千円	特定財源 15 千円	一般財源 2,596 千円	
-----------------	---------------	------------------	--

事業名称

産業振興計画官民共同プロジェクト

事業番号

32012

所管コード 所管名

360101	産業振興部商工観光課商工係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 20 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

宗像市産業振興事業補助金交付要綱

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
4 節	商工業の振興

将来像	地域の商工業が元気なまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	
どのような 手段で	市内の農業者・漁業者・商工業者や関係団体等と連携し、地域の産物の販売促進のための共同事業を展開する。①地域の産物を活用した特産品やブランド商品の開発や商品化に関わる実践的活動②地域の産物の販売促進や販路の開拓に関わるイベント等PR活動③地域の産物の販売促進や販路の開拓に関わるPRツールや仕組みの整備
どのような 状態に	市内産業が活性化している。

職務名

地域の産物を活用した特産品やブランド商品の開発や商品化に関わる実践的活動	
地域の産物の販売促進や販路の開拓に関わるイベント等PR活動	
地域の産物の販売促進や販路の開拓に関わるPRツールや仕組みの整備	

平成24年度実施計画

実験的事業の実践的活動の実施。販売促進や販路の開拓に関わるPR活動の実施、及びPRツールの仕組みの整備や積極的な運用に向けての助言や支援
--

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
市及び団体が13事業の取り組みをして、販路拡大、情報発信、地域資源の開発に取り組みました。	各取り組みが定着してきており、各団体の自主性と連携性の向上につながりました。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
活動	継続事業実施数	実験的に行った事業が継続事業となった数	回	8	8	3	3
活動	PR事業の展開数	展開した媒体数＋イベント実施数	回	9	9	3	3

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	27,819	26,423	52,706
特定財源	千円	21,319	11,319	5,000
一般財源	千円	6,500	15,104	47,706
H24特定財源の内訳		ふるさと寄付金		

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	目標通りの事業実施を行い、実験的事業も展開しているため。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

実験的事業の実践的活動の実施。販売促進や販路の開拓に関わるPR活動の実施、及びPRツールの仕組みの整備や積極的な運用に向けての助言や支援			
事業費 56,320 千円	特定財源 5,000 千円	一般財源 51,320 千円	

事業名称

中心商業地等活性化事業

事業番号

32015

所管コード 所管名

360101	産業振興部商工観光課商工係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☐ 平成14年度以前	平成 22 年度 ～ 平成 年度	☒ 終了見込みなし
-----------------------------------	------------------	---

関係法規・条例

宗像市中心商業地等活性化事業補助金交付要綱

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
4 節	商工業の振興

将来像	地域の商工業が元気なまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	赤間駅及び東郷駅周辺の事業所・地域団体
どのような 手段で	・赤間駅及び東郷駅周辺住民や地元事業所はもとより、商工会等の関係団体とも連携し、中心商業地等にふさわしい賑わいを創出するため、意見交換会等を実施することにより意識の統一された方向性を見出し、具体的な取り組みへとつなげていく。
どのような 状態に	市の中心商業地等が活気づいていること。

職務名

中心拠点活性化事業	

平成24年度実施計画

対象地域の関係者等と意見交換を実施し、新たなイベント等については実施するための支援・助言を行い、実践に移し、2年目以降の事業については、助言を行い自立を促す。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
地域団体が主催するイベントの運営を一部担いました。団体による赤間駅周辺地区のにぎわい創出の取り組み4事業に補助金を助成しました。	赤間駅周辺地域のにぎわいを創出し、まちの魅力発信と活性化につながりました。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	イベント数	イベントを実施した数	個	2	1	1	1
成果	補助対象事業数	補助対象の事業の数	個			4	4

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円	1,449	403	2,764
特定財源	千円			
一般財源	千円	1,449	403	2,764
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	計画通りの成果を達成しているため
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

対象地域の関係者等と意見交換を実施し、新たなイベント等については実施するための支援・助言を行い、実践に移し、2年目以降の事業については、助言を行い自立を促す。			
事業費	特定財源	一般財源	
4,675 千円	千円	4,675 千円	

事業名称

市内消費推進啓発事業

事業番号

32017

所管コード 所管名

360101	産業振興部商工観光課商工係
--------	---------------

新規／継続

継続

事務区分

自治事務(法律、政令に基づかずに任意で行うもの)

事業期間

☒ 平成14年度以前	平成	年度	～	平成	年度	☐ 終了見込みなし
--	----	----	---	----	----	----------------------------------

関係法規・条例

--

総合計画体系

第 3 部	都市基盤の整備・産業の振興
第 4 章	ゆとりを生む産業の振興
4 節	商工業の振興

将来像	地域の商工業が元気なまち
-----	--------------

事業概要

対象 (誰・何) に対して	
どのような 手段で	日頃から、なるべく市内で買い物をしてもらえるような意識付けを行うための啓発活動を実施する。
どのような 状態に	市内事業者の経済活性化が行われていること

職務名

市内消費拡大推進啓発事業	

平成24年度実施計画

23年度事業の結果を商工会と検証しながら、市内消費拡大について商工会と連携する。

平成24年度の成果

活動内容（担当課の取り組み内容）⇒⇒⇒	成果内容（対象の変化。●●につながりました）
消費拡大を目的として市商工会へ委託して市内事業所を紹介した冊子「むなかたぐるり」を42,000部作成して市内全戸配布と市内外に配布設置しました。	市内外に配布設置したことで、店舗・事業所の効果的なPRにつながりました。

活動指標／成果指標

指標内容			単位	実績		目標	実績
区分	指標名	説明・算定式		H22	H23	H24	
成果	啓発事業の数	啓発事業を実施した回数	回		2	2	1

事業費の推移

	単位	H22決算	H23決算	H24決算
事業費	千円		4,997	4,998
特定財源	千円			
一般財源	千円		4,997	4,998
H24特定財源の内訳				

平成24年度事務事業評価コメント

H24達成度	左の評価の理由	
大変順調	順調	指標は達成できていないが、冊子を作り、その後Webで継続して紹介ページができていますので、効果は高い。
順調		
やや遅れ		
遅れ		
終了		

平成25年度の実施計画

市内の消費拡大につながる取り組みを関係機関と協議しながら事業展開していく。

事業費	千円	特定財源	千円	一般財源	千円	
-----	----	------	----	------	----	--